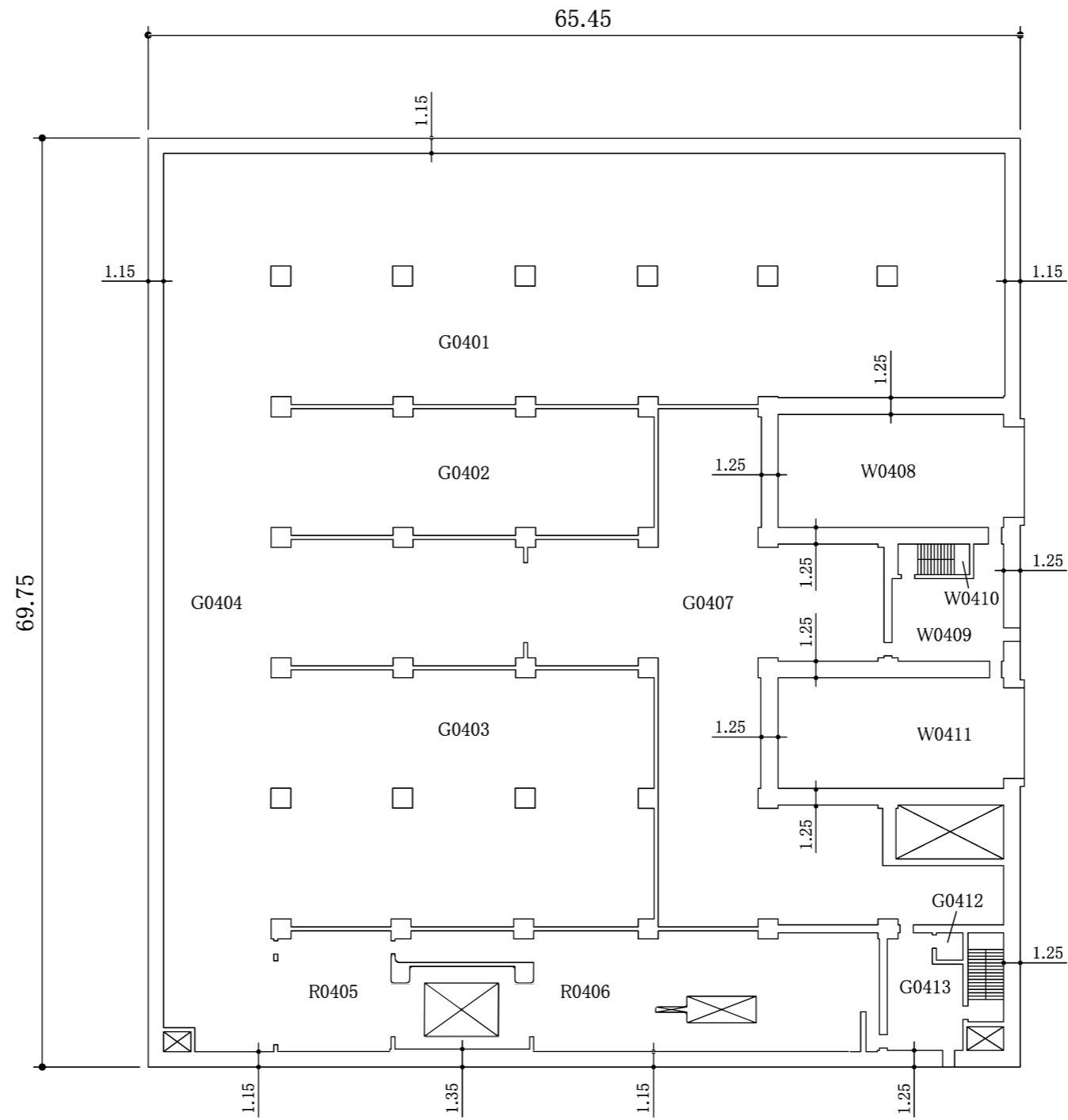
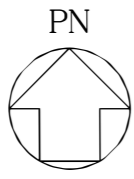


主要な廃棄物管理施設を収納する建物及び構築物は、標高約55mに設置。

第2.1-2図
主要設備の配置の状況を明示した平面図

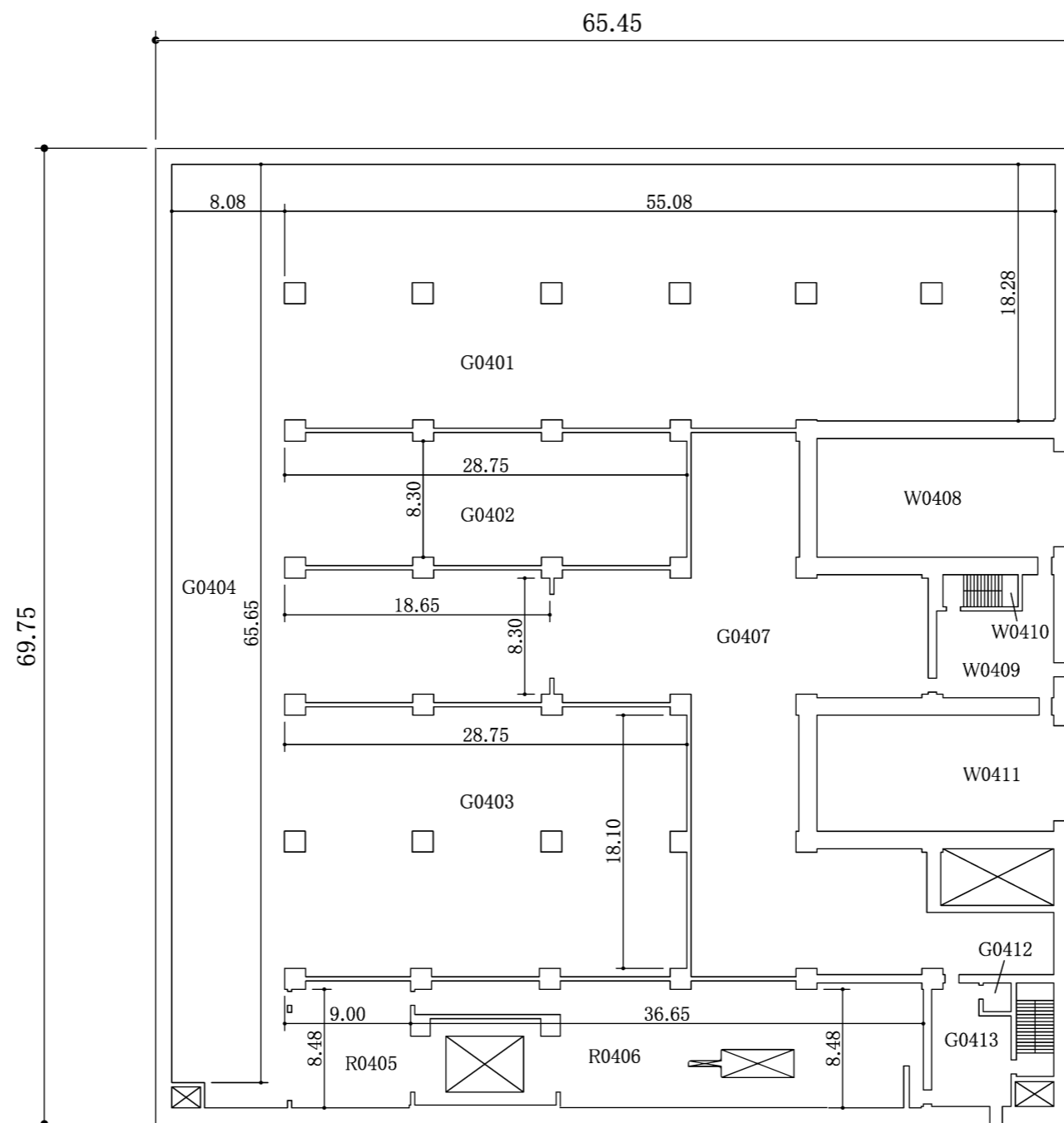
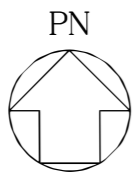
Ⅲ－２－２ 平面図及び断面図

許 A



第2.2.1-1図
第2低レベル廃棄物貯蔵建屋 地上1階平面図
(T.M.S.L.55.30m)

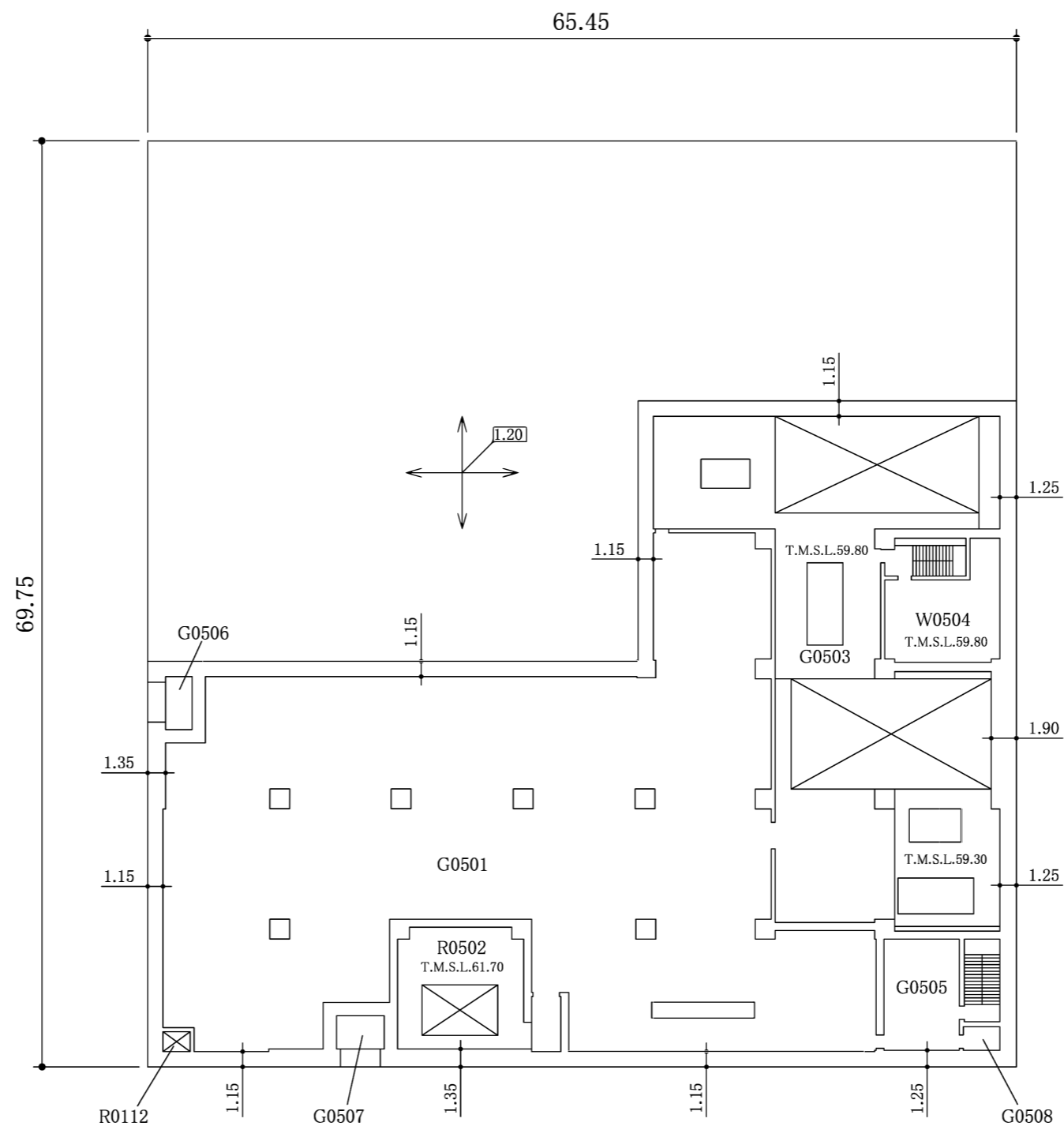
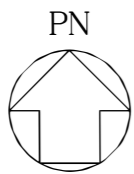
(T. M. S. L. 55. 30) (単位:m)



(T. M. S. L. 55. 30) (単位:m)

第2. 2. 1-2図

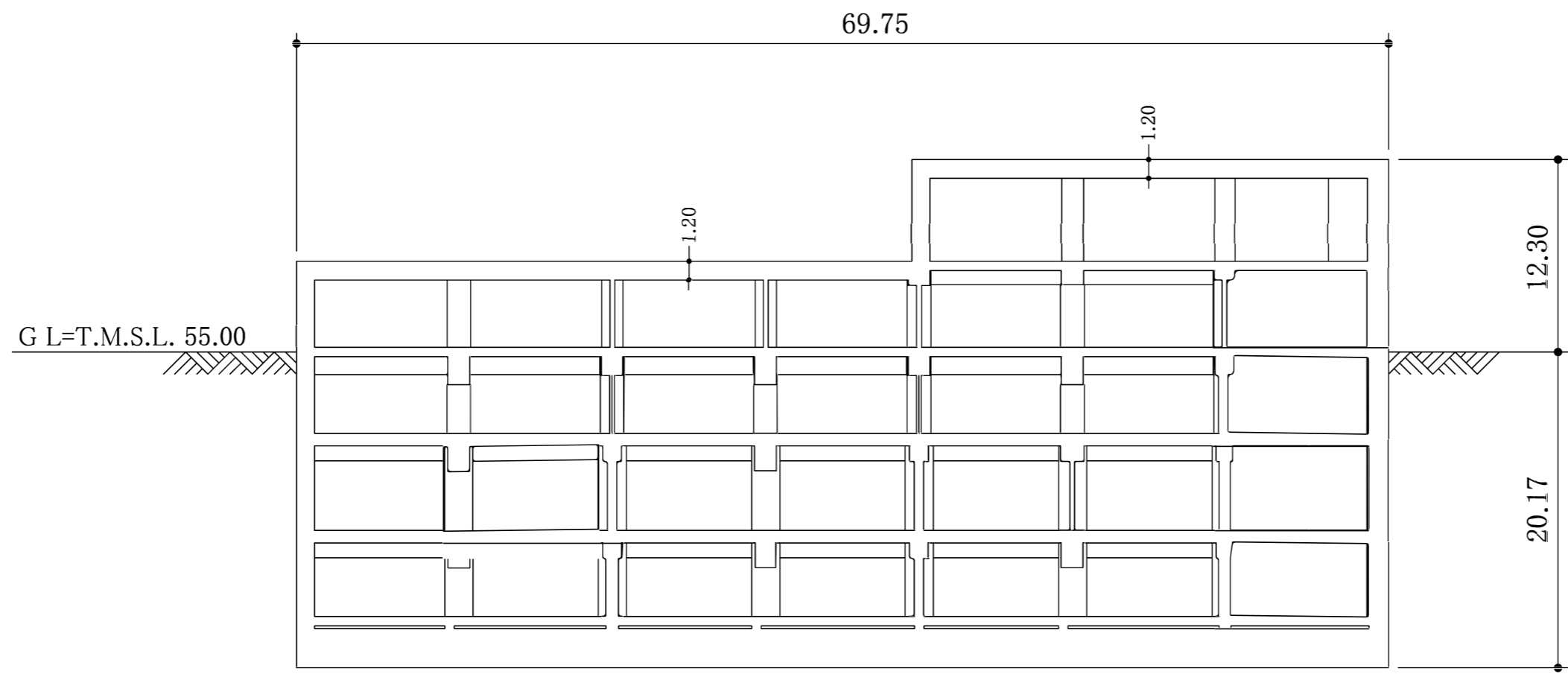
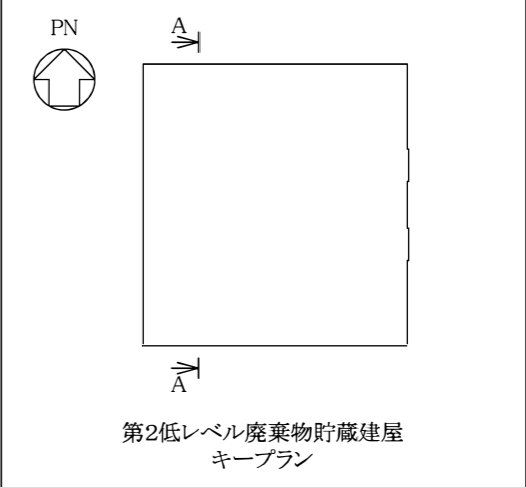
第2低レベル廃棄物貯蔵建屋 地上1階平面図
(低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系))(T.M.S.L.55.30m)



(T. M. S. L. 60. 80) (単位:m)

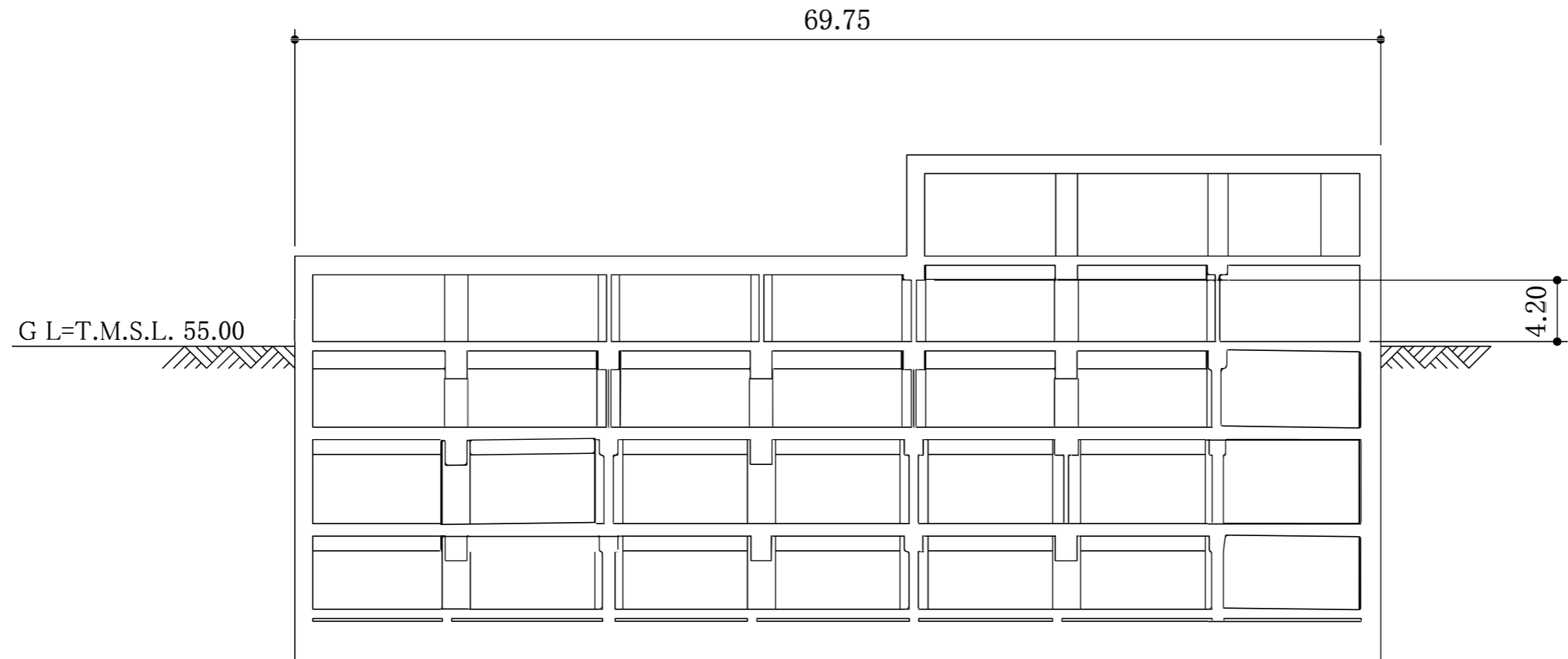
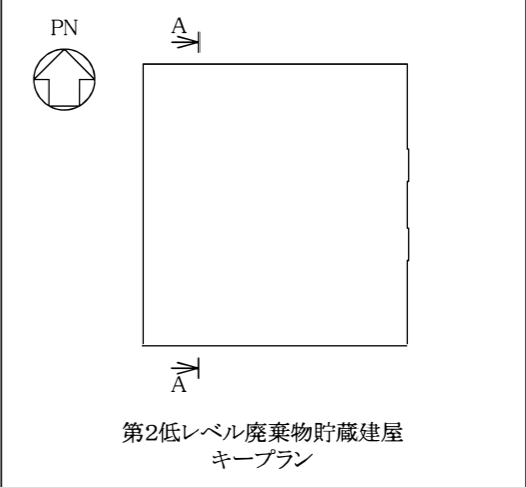


第2.2.1-3図
第2低レベル廃棄物貯蔵建屋 地上2階平面図
(T.M.S.L.60.80m)



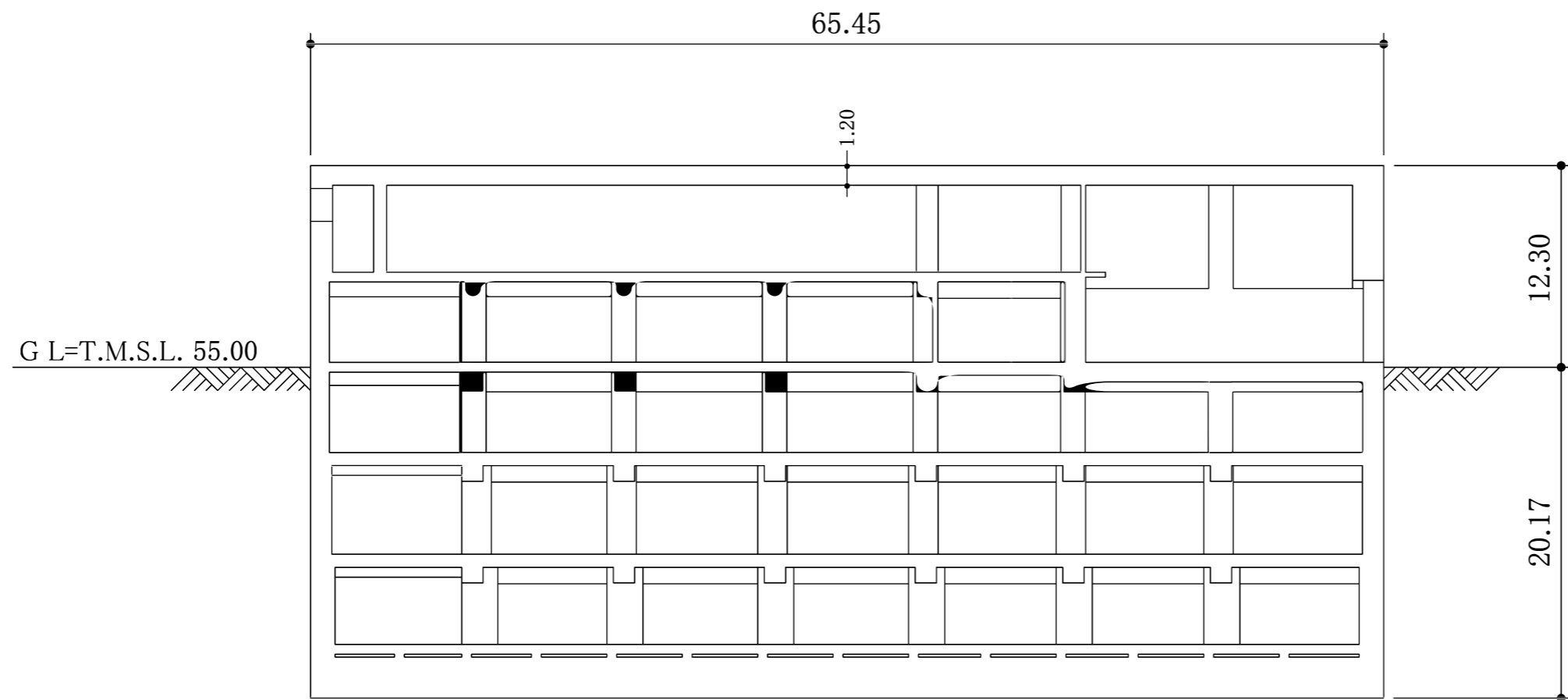
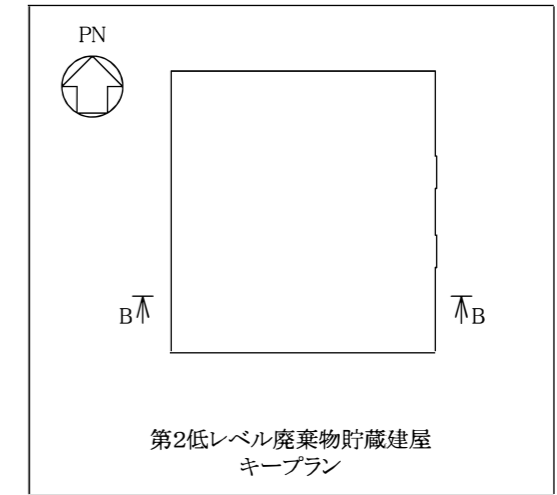
A-A断面図(単位:m)

第2.2.1-4図
第2レベル廃棄物貯蔵建屋 A-A断面図



A-A断面図(単位:m)

第2.2.1-5図
第2レベル廃棄物貯蔵建屋 A-A断面図
(低レベル固体廃棄物貯蔵エリア(第1貯蔵系))



B-B断面図(単位:m)

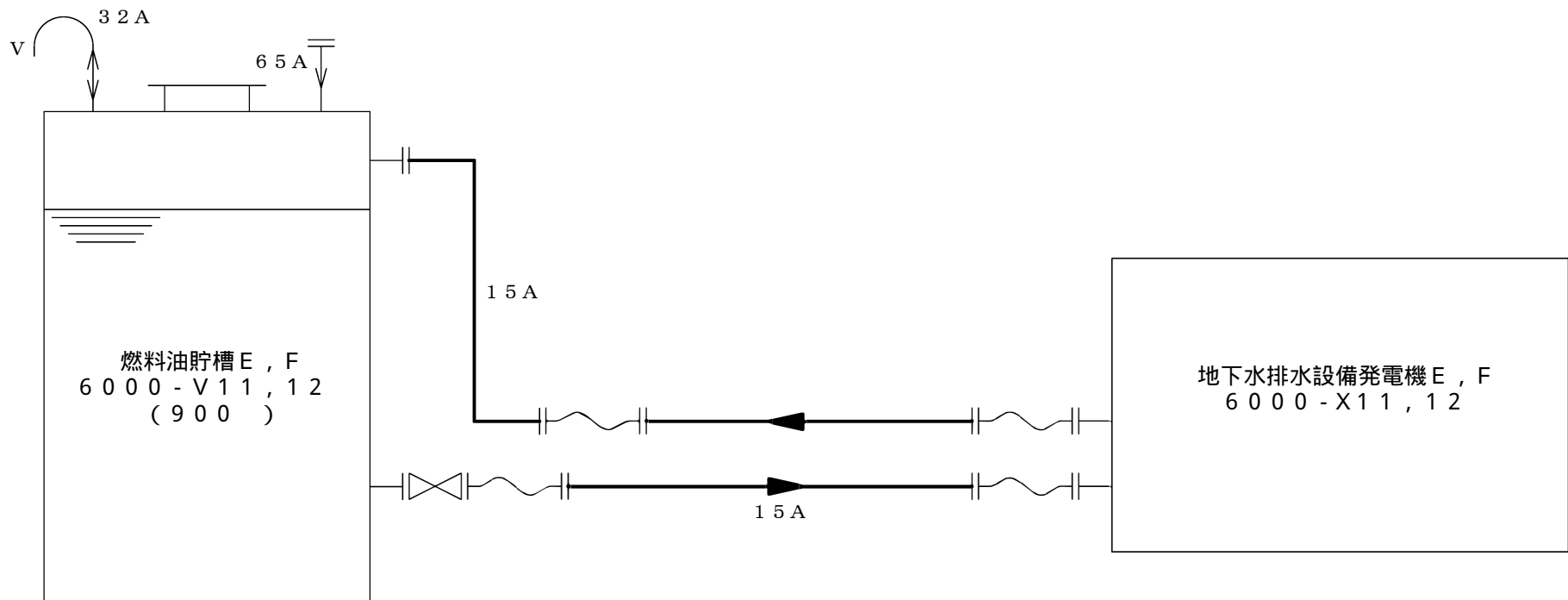
第2.2.1-6図
第2レベル廃棄物貯蔵建屋 B-B断面図

Ⅲ－２－３ 系統図

許 A

Ⅲ－2－3－1 系統図

許 A

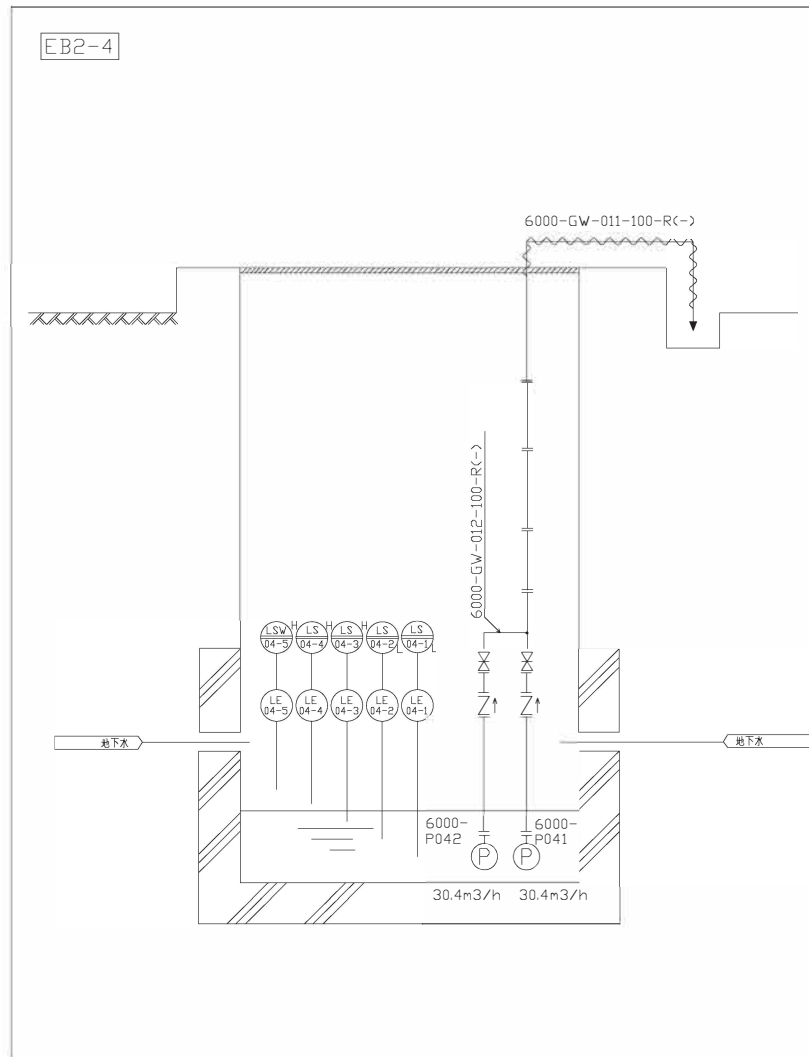
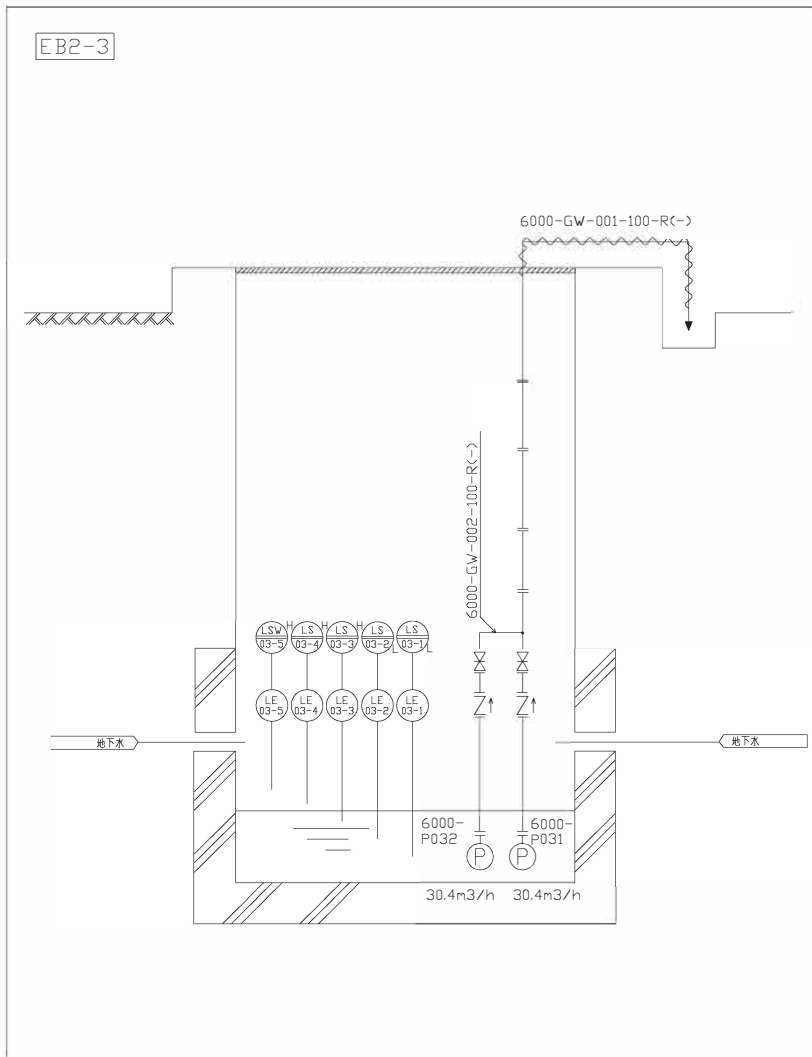


第2.3.1.1-1図
 地下水排水設備（ガラス固化体貯蔵建屋B棟周り）燃料油配管の系統図

第2.3.1.1-1図 地下水排水設備（ガラス固化体貯蔵建屋B棟周り）燃料油配管の系統図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	21.7	±5 mm	JIS G3459による材料公差
厚さ	3.7	±5 mm	JIS G3459による材料公差



第2.3.1.1.-2図

地下水排水設備（ガラス固化体B棟周り）排水配管の系統図

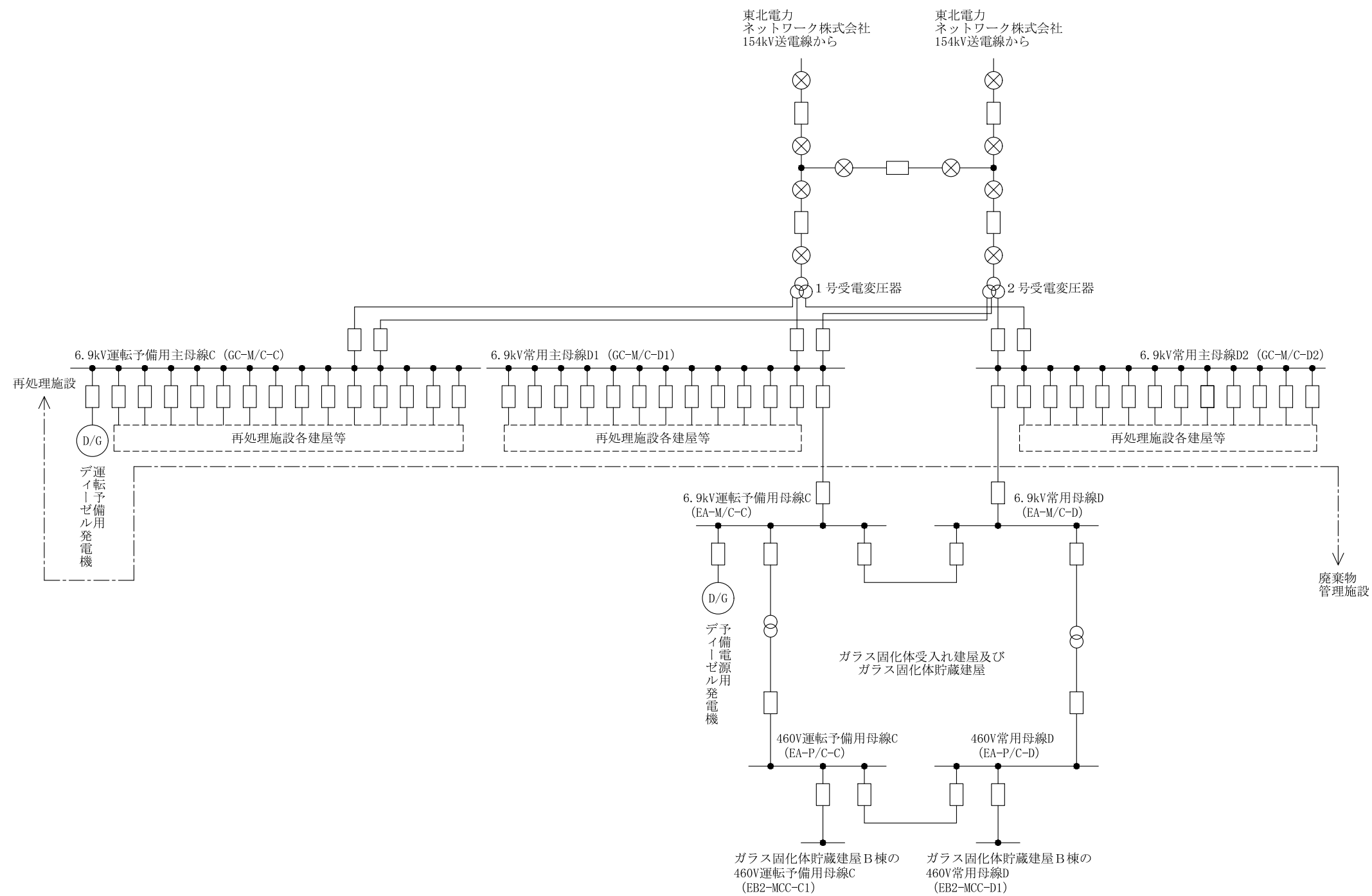
第2.3.1.1-2図 地下水排水設備（ガラス固化体B棟周り）排水配管の系統図 別紙

主要配管 口径(A) 及び板厚	主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
100 Sch40	外径	114.3	±1%	JIS G 3459 による 材料公差
	厚さ	6.0	±12.5%	JIS G 3459 による 材料公差

注記 *：主要寸法は，設工認申請記載の公称値を示す。

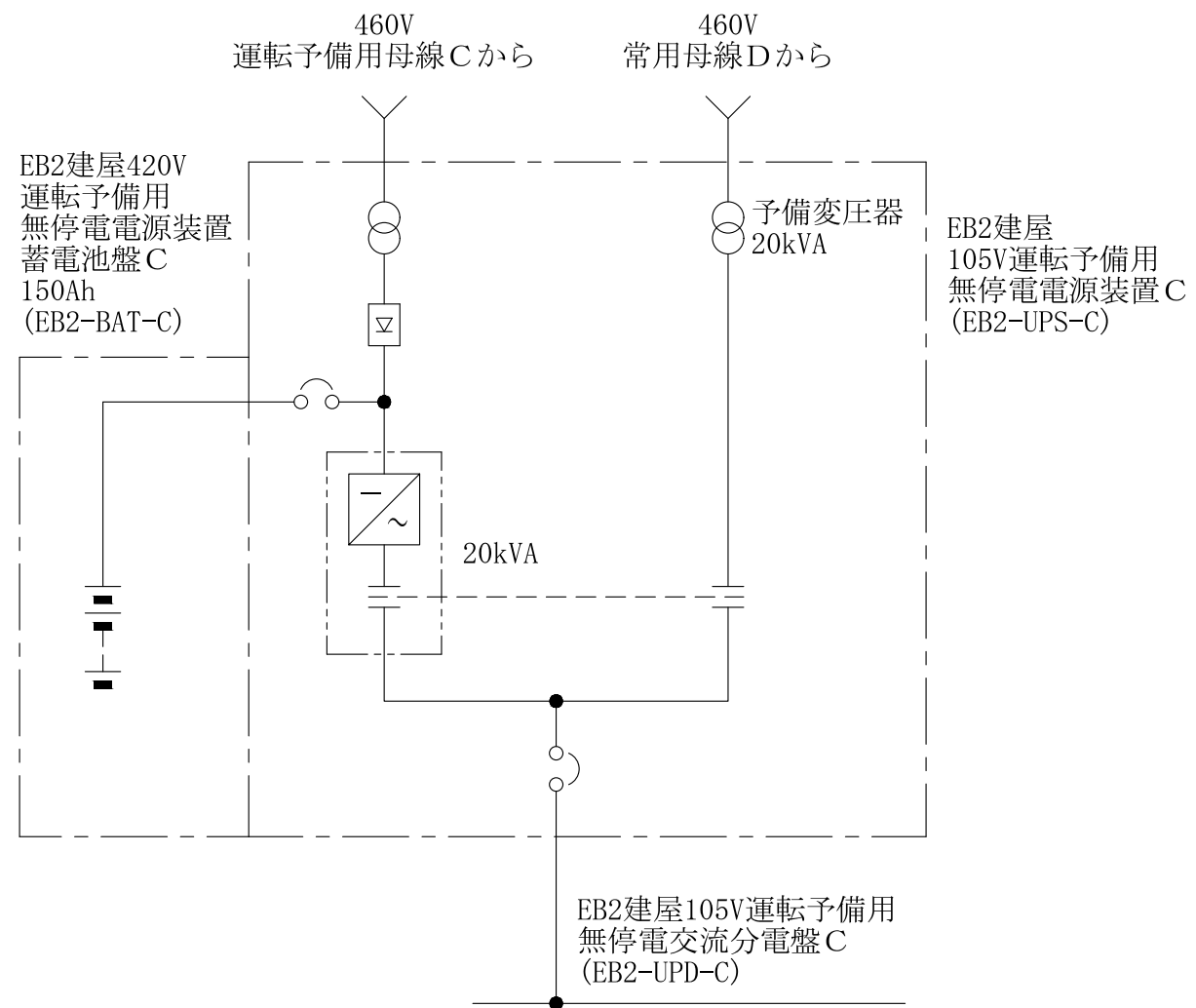
Ⅲ－2－3－4 単線結線図

許 A



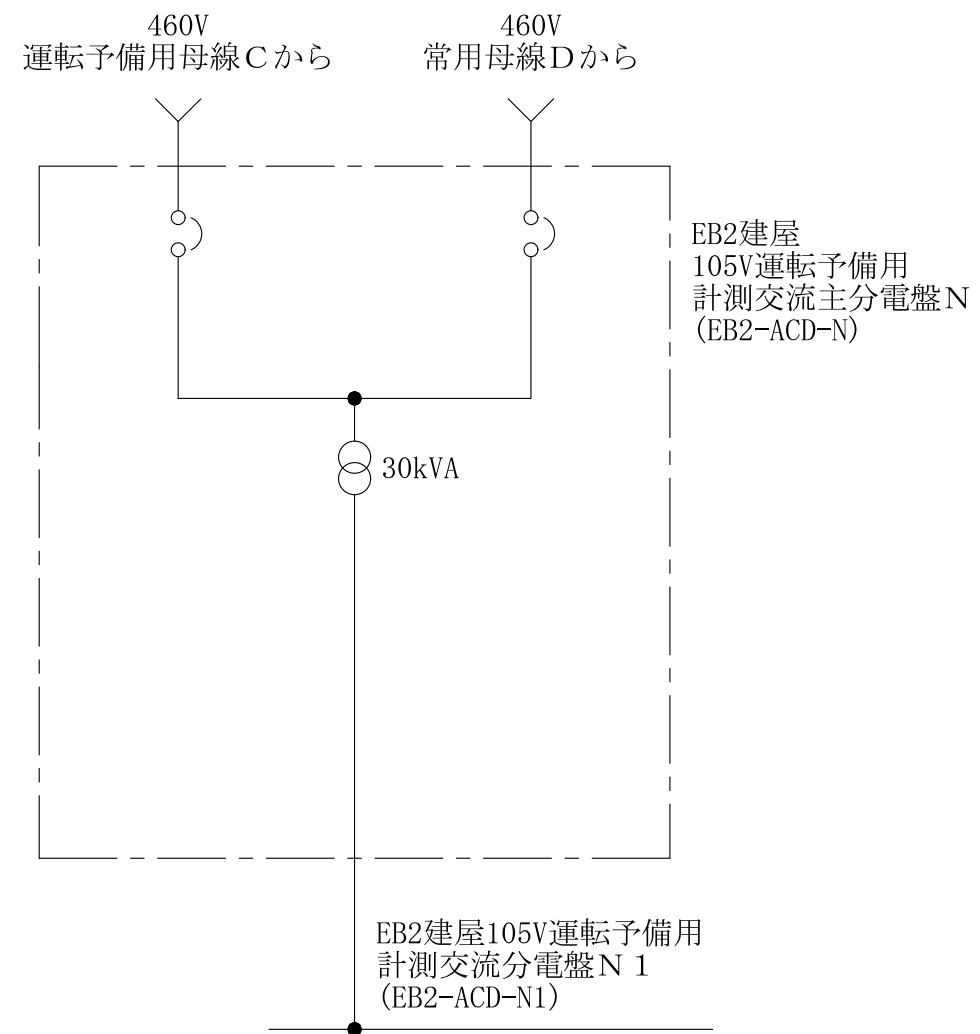
凡 例	
	遮断器
	動力用変圧器
	受電変圧器
	断路器

第2.3.4.1.1.1-1図
電気設備の単線結線図(その1)



凡 例	
	配線用遮断器
	整流器
	直流・交流変換器
	静止形切替スイッチ
	変圧器
	蓄電池

第2.3.4.1.1.1-2図
電気設備の単線結線図(その2)

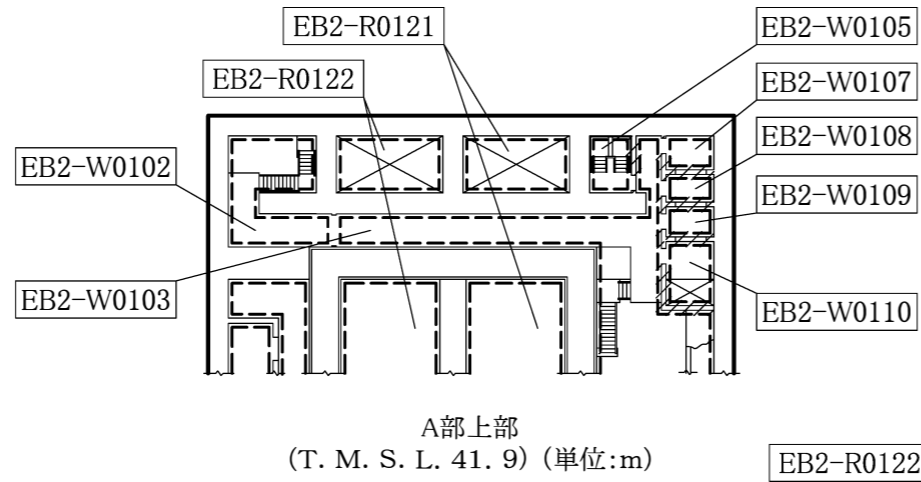
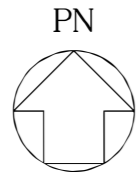


凡 例	
	配線用遮断器
	変圧器

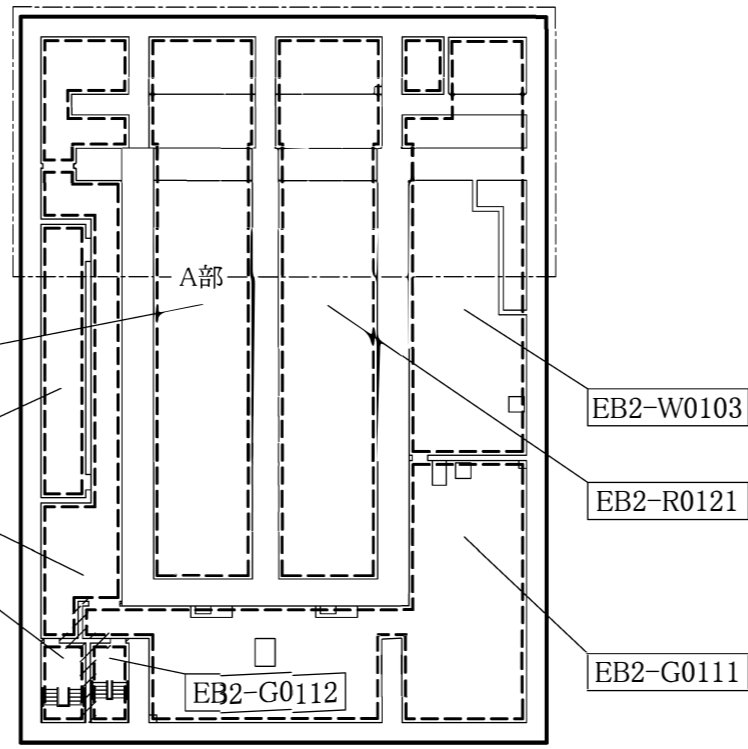
第2.3.4.1.1.1-3図
電気設備の単線結線図(その3)

Ⅲ－２－４ 配置図

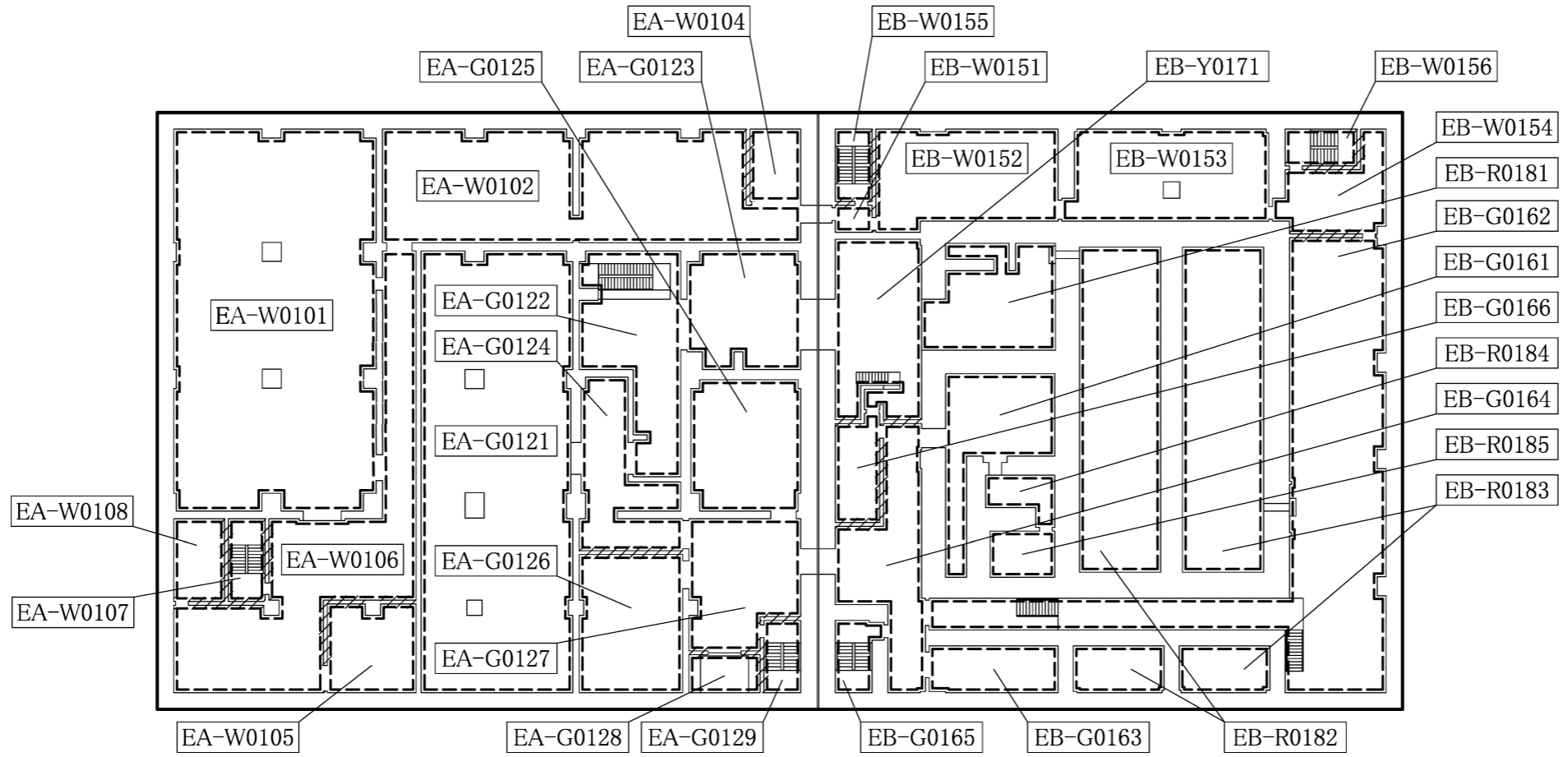
許 A



ガラス固化体貯蔵建屋B棟 地下2階
(T. M. S. L. 38. 2) (単位:m)



- : 火災区域
- : 火災区画
- : 建屋毎の火災区域及び火災区画
構造物の厚さ最小部位: 300mm

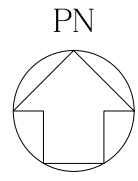


ガラス固化体受入れ建屋 地下2階
(T. M. S. L. 38. 2) (単位:m)

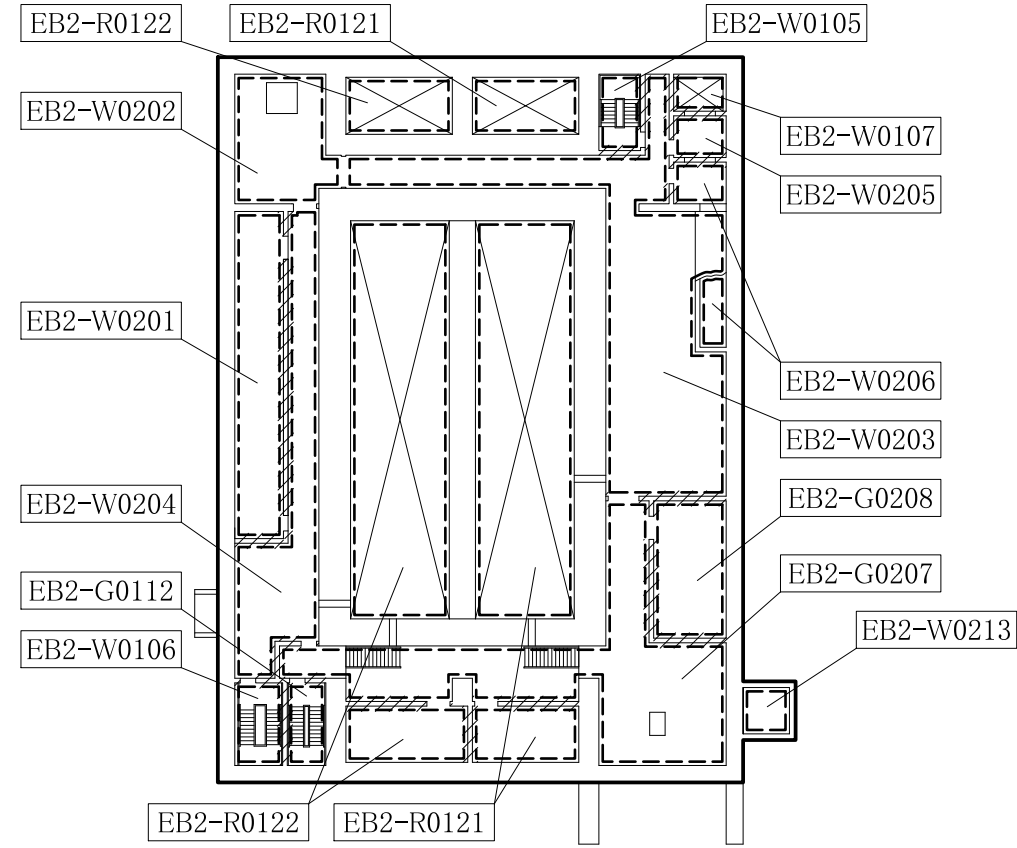
ガラス固化体貯蔵建屋 地下2階
(T. M. S. L. 38. 2) (単位:m)

第2.4.1.1.1-1図
火災防護設備に係る火災区域構造物及び
火災区画構造物の配置を明示した図面
ガラス固化体受入れ建屋ーガラス固化体貯
蔵建屋ーガラス固化体貯蔵建屋B棟
地下2階

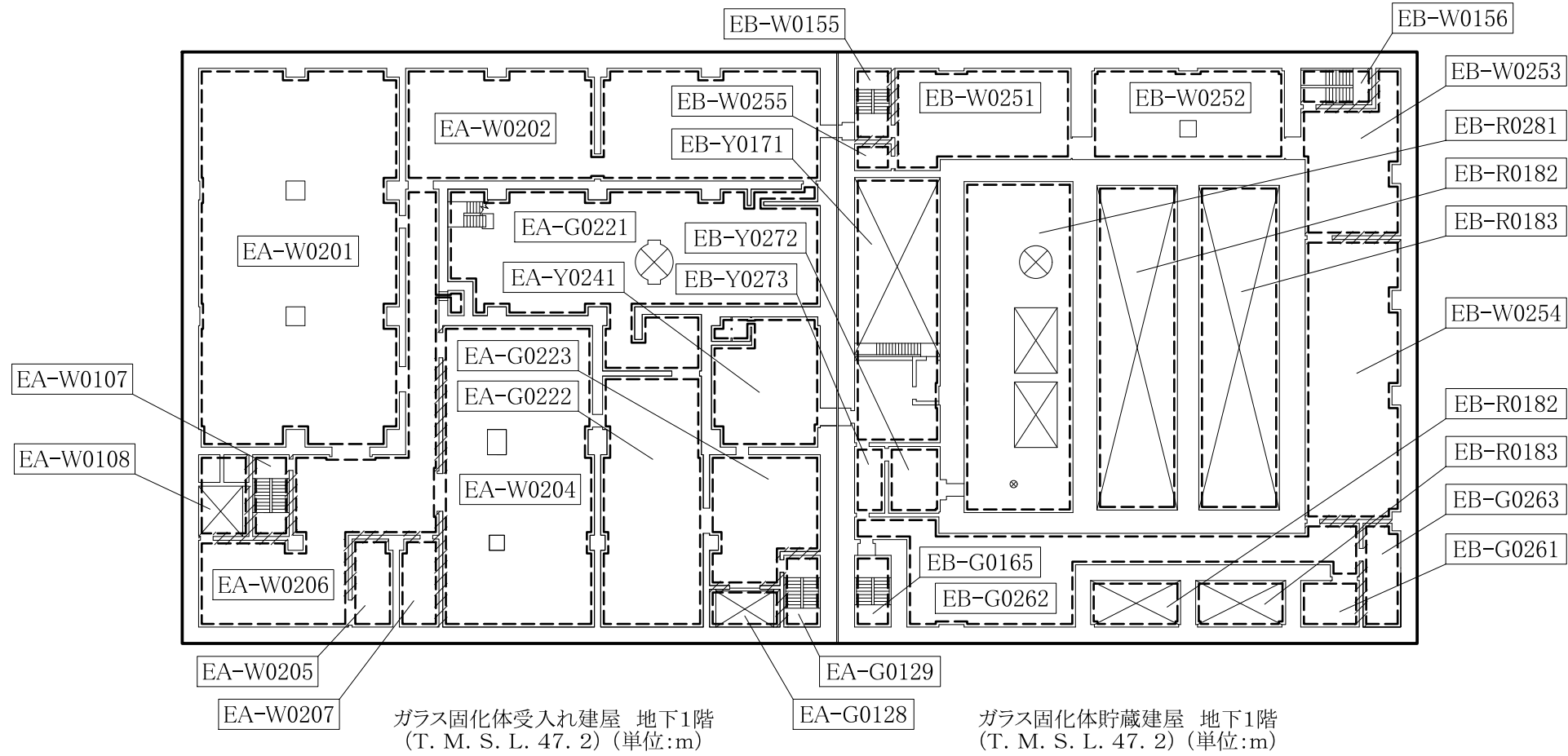
許 A



ガラス固化体貯蔵建屋B棟 地下1階
(T. M. S. L. 47. 2) (単位:m)



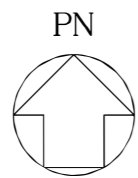
- : 火災区域
- : 火災区画
- : 建屋毎の火災区域及び火災区画
構造物の厚さ最小部位:300mm



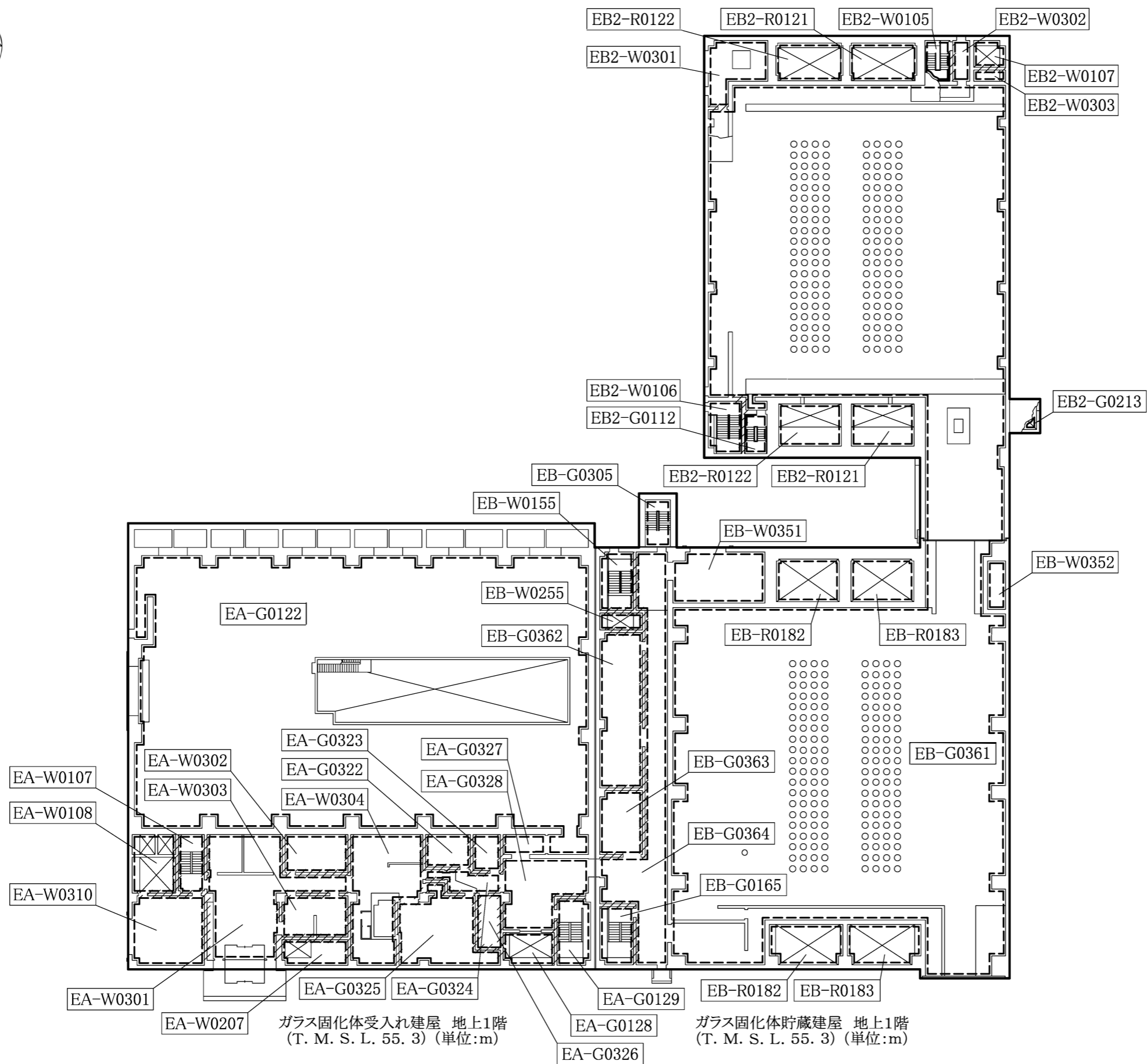
ガラス固化体受入れ建屋 地下1階
(T. M. S. L. 47. 2) (単位:m)




ガラス固化体貯蔵建屋 地下1階
(T. M. S. L. 47. 2) (単位:m)

第2.4.1.1.1-2図
火災防護設備に係る火災区域構造物及び
火災区画構造物の配置を明示した図面
ガラス固化体受入れ建屋ーガラス固化体貯蔵建屋ーガラス固化体貯蔵建屋B棟
地下1階



ガラス固化体貯蔵建屋B棟 地上1階
(T. M. S. L. 55. 3) (単位:m)

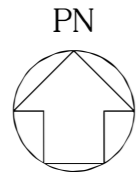


-  : 火災区域
-  : 火災区画
-  : 建屋毎の火災区域及び火災区画
構造物の厚さ最小部位:300mm

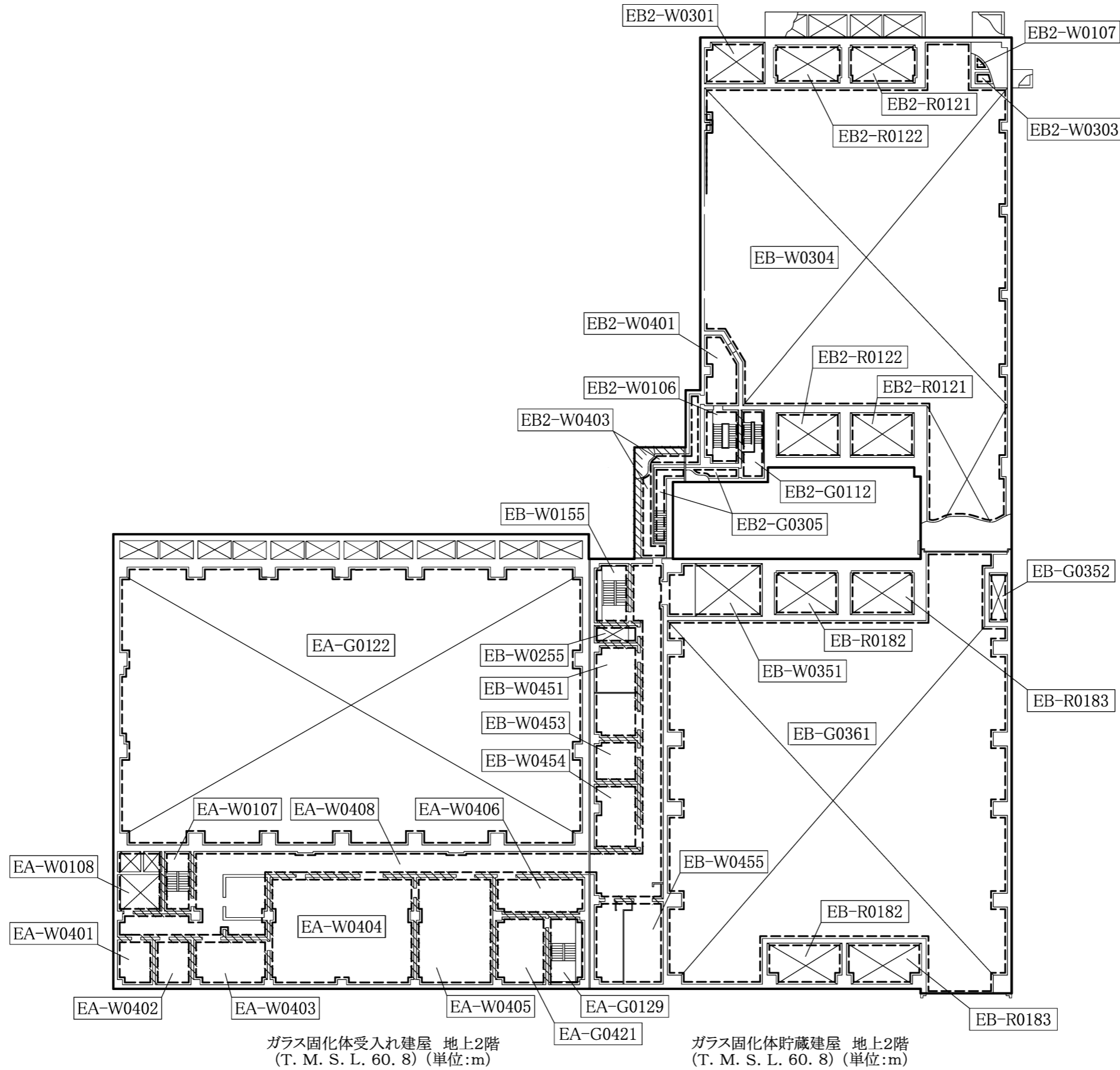
ガラス固化体受入れ建屋 地上1階
(T. M. S. L. 55. 3) (単位:m)

ガラス固化体貯蔵建屋 地上1階
(T. M. S. L. 55. 3) (単位:m)

第2.4.1.1.1-3図
火災防護設備に係る火災区域構造物及び
火災区画構造物の配置を明示した図面
ガラス固化体受入れ建屋-ガラス固化体貯蔵
建屋-ガラス固化体貯蔵建屋B棟
地上1階

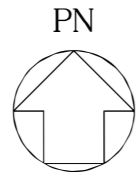


ガラス固化体貯蔵建屋B棟 地上2階
(T. M. S. L. 60. 8) (単位:m)



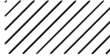


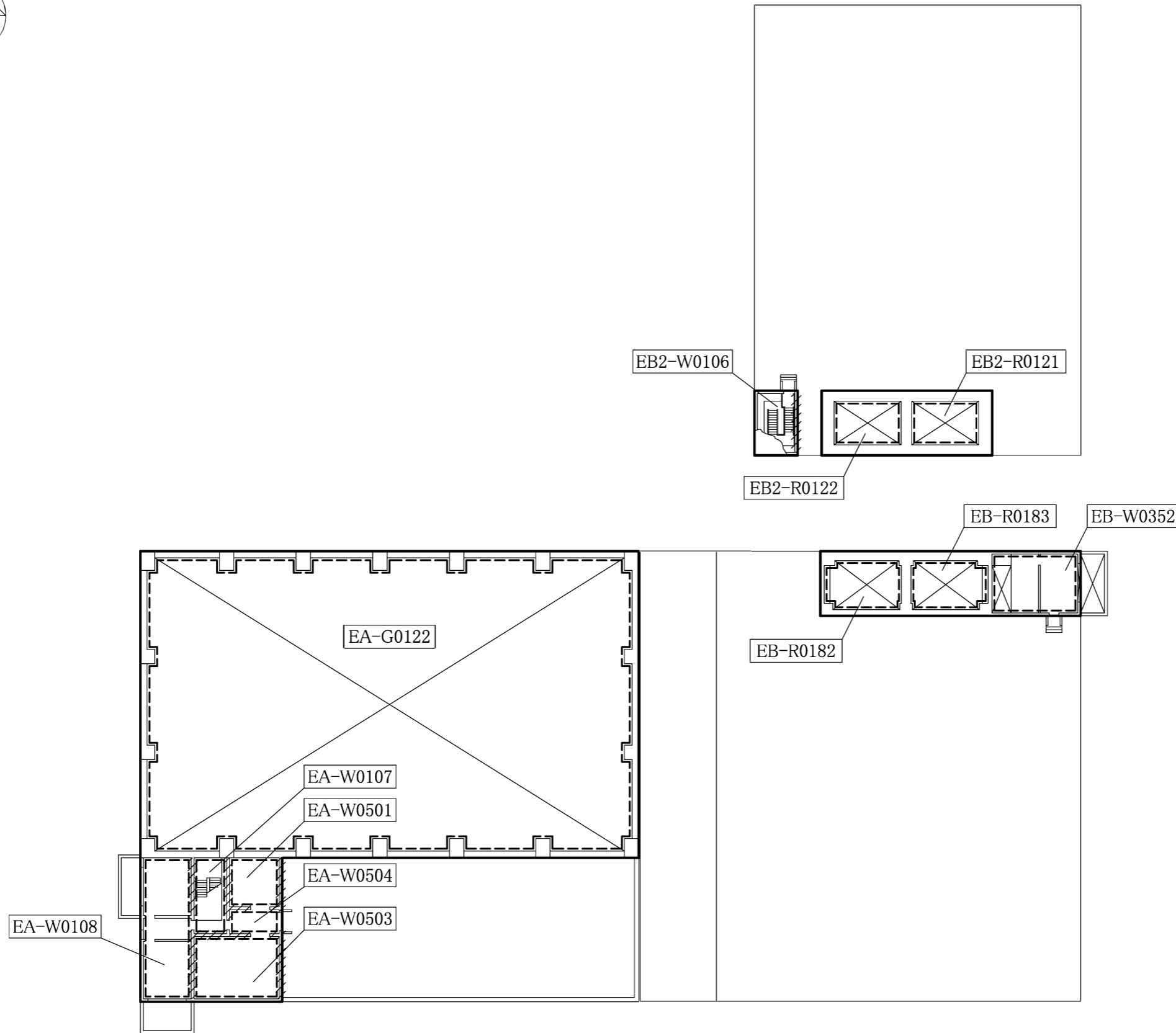
- : 火災区域
- : 火災区画
- : 建屋毎の火災区域及び火災区画
構造物の厚さ最小部位: 300mm

第2.4.1.1.1-4図
火災防護設備に係る火災区域構造物及び
火災区画構造物の配置を明示した図面
ガラス固化体受入れ建屋ーガラス固化体貯
蔵建屋ーガラス固化体貯蔵建屋B棟
地上2階



ガラス固化体貯蔵建屋B棟 屋上階
(T. M. S. L. 68. 9) (単位:m)

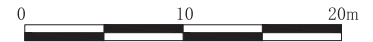
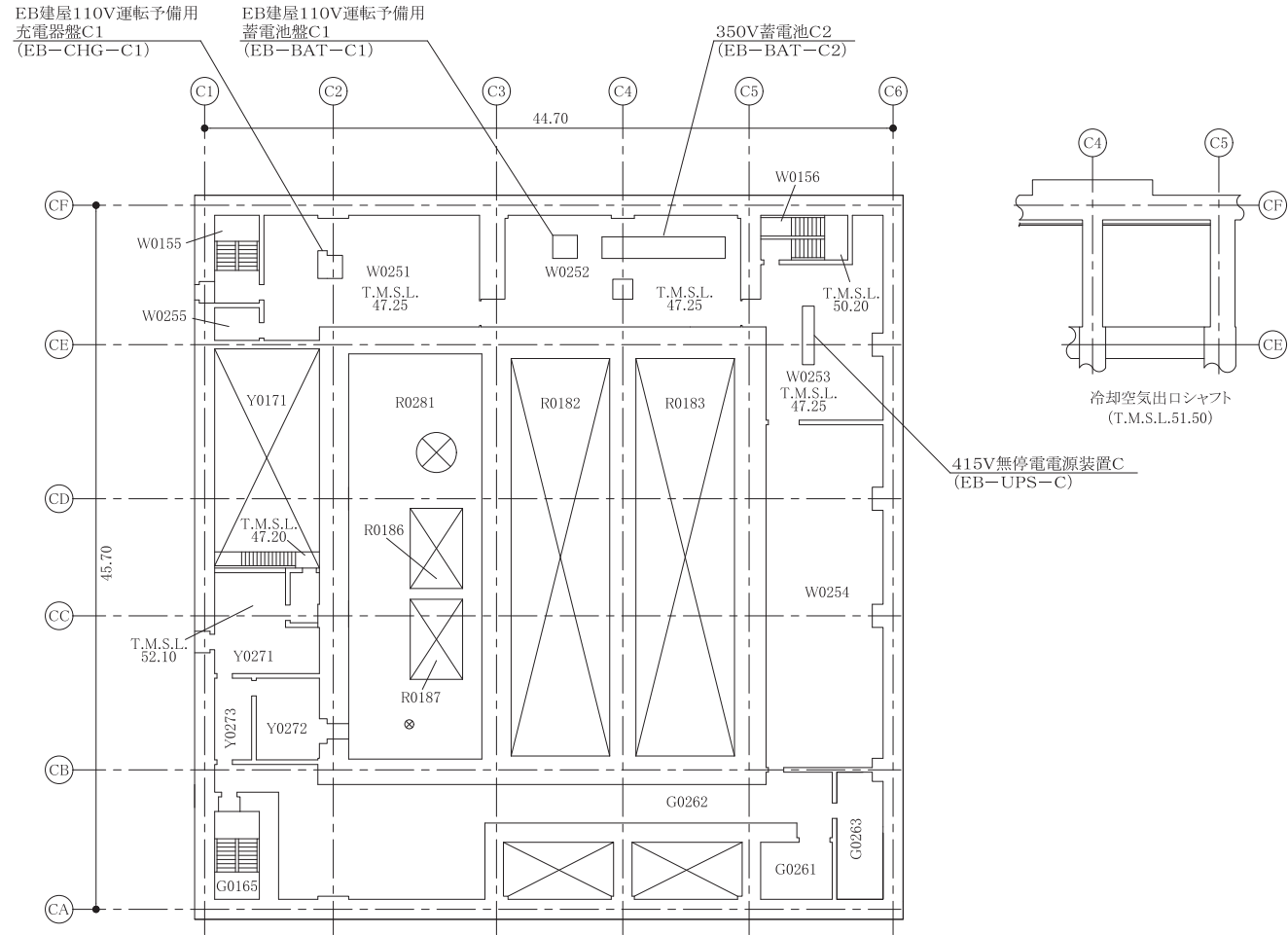
-  : 火災区域
-  : 火災区画
-  : 建屋毎の火災区域及び火災区画
構造物の厚さ最小部位:300mm



ガラス固化体受入れ建屋 屋上階
(T. M. S. L. 66. 3) (単位:m)

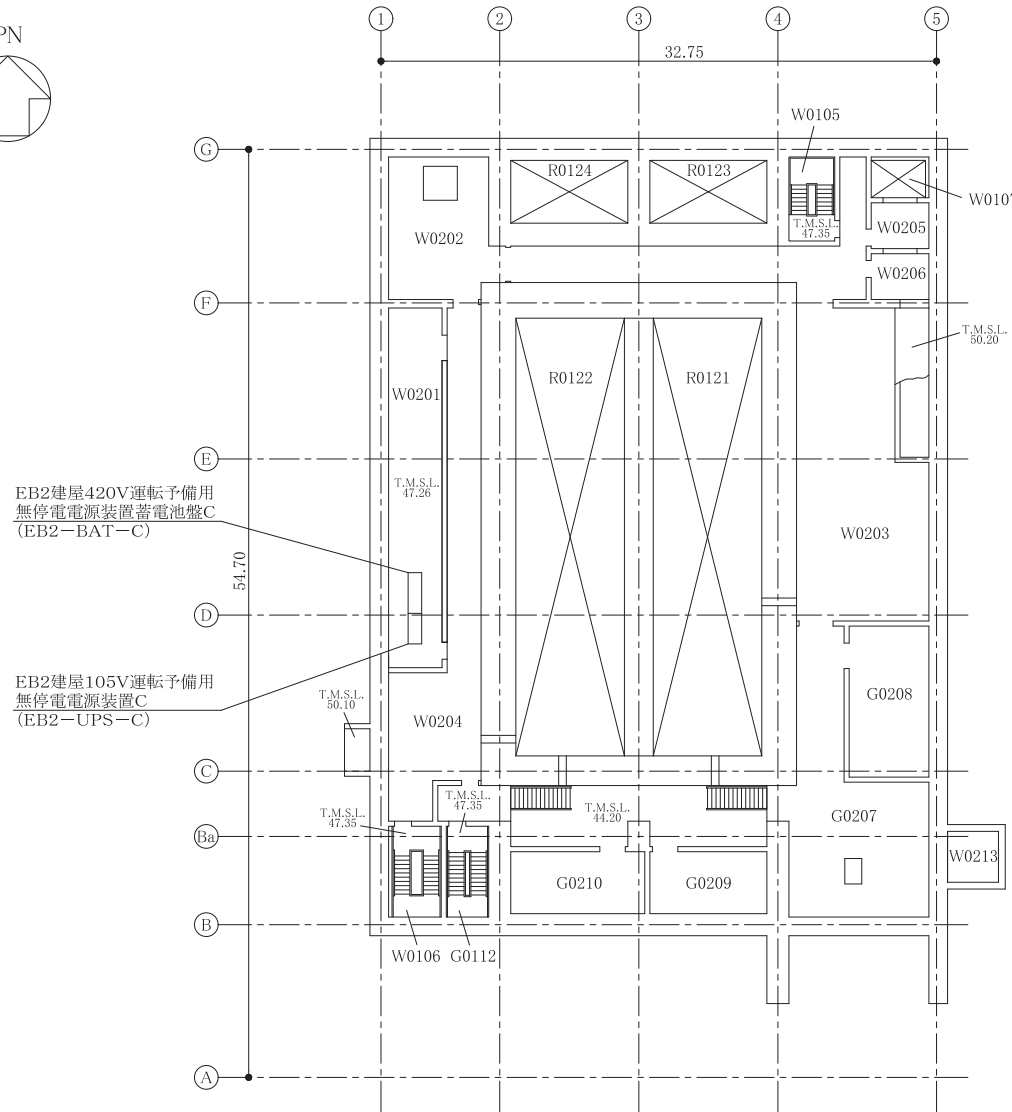
ガラス固化体貯蔵建屋 屋上階
(T. M. S. L. 68. 9) (単位:m)

第2.4.1.1.1-5図
火災防護設備に係る火災区域構造物及び
火災区画構造物の配置を明示した図面
ガラス固化体受入れ建屋ーガラス固化体貯
蔵建屋ーガラス固化体貯蔵建屋B棟
屋上階



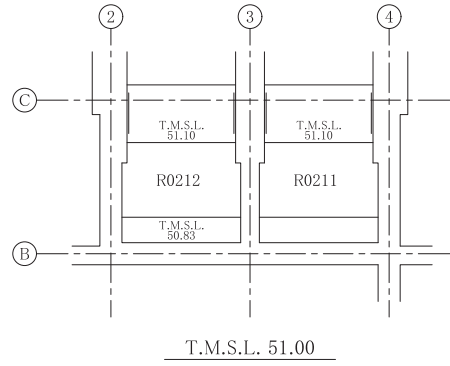
(T. M. S. L. 47. 20) (単位:m)

第2.4.1.1.2-1図
電気設備に係る機器の配置を示した図面
ガラス固化体貯蔵建屋 地下1階



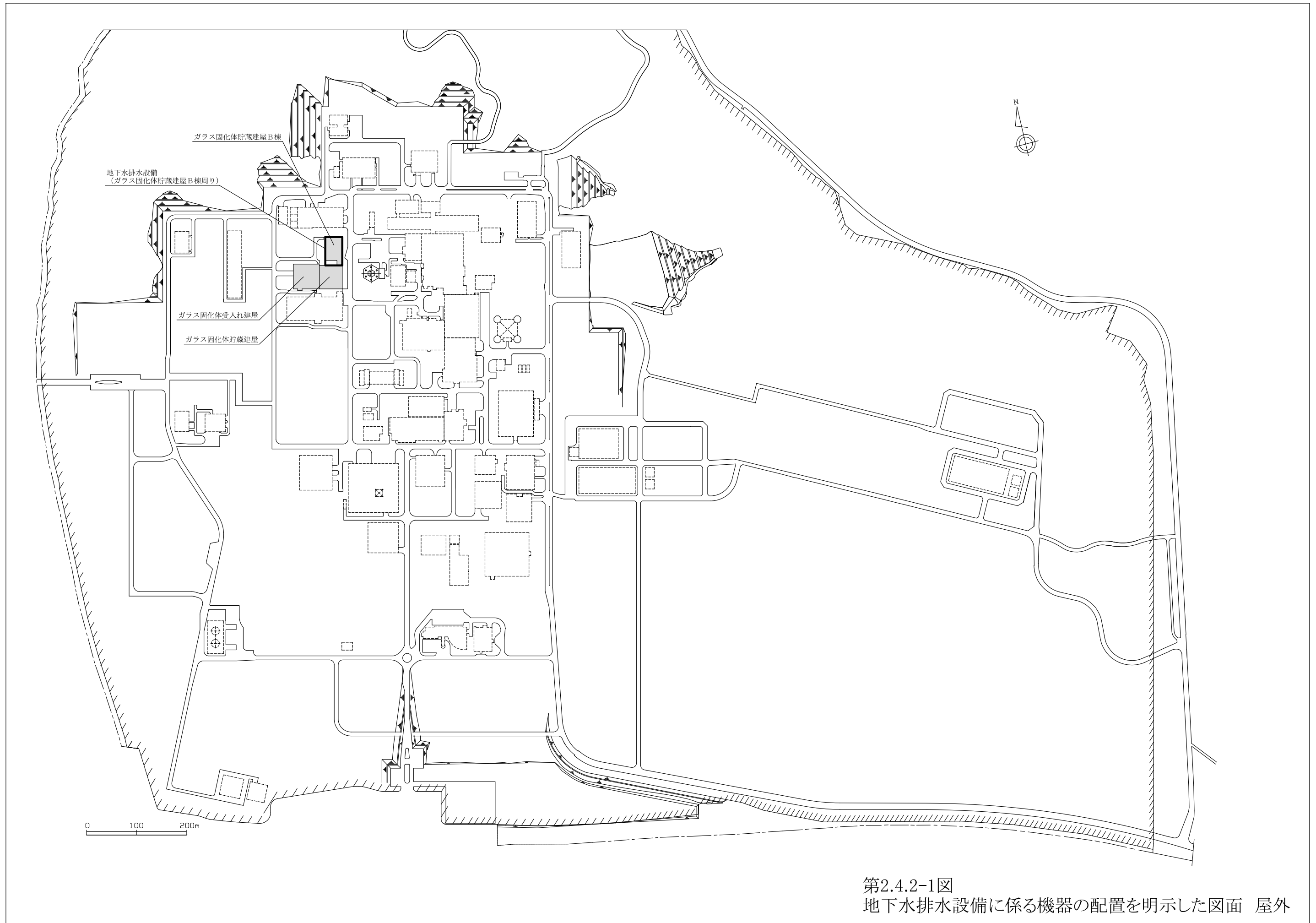
EB2建屋420V運転予備用
無停電電源装置蓄電池盤C
(EB2-BAT-C)

EB2建屋105V運転予備用
無停電電源装置C
(EB2-UPS-C)



(T. M. S. L. 47. 20) (単位:m)

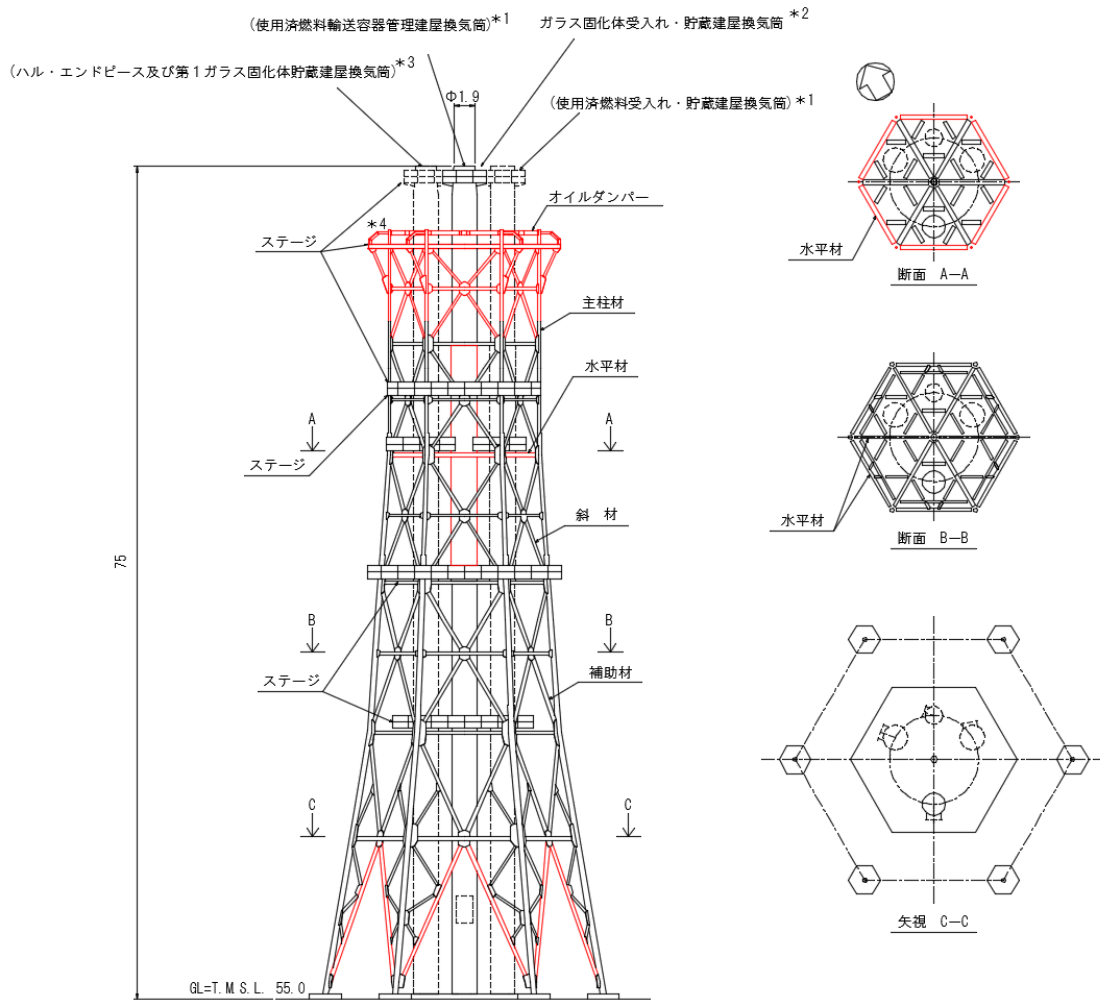
第2.4.1.1.2-2図
電気設備に係る機器の配置を示した図面
ガラス固化体貯蔵建屋B棟 地下1階



第2.4.2-1図
地下水排水設備に係る機器の配置を明示した図面 屋外

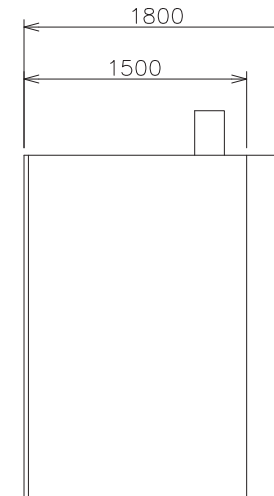
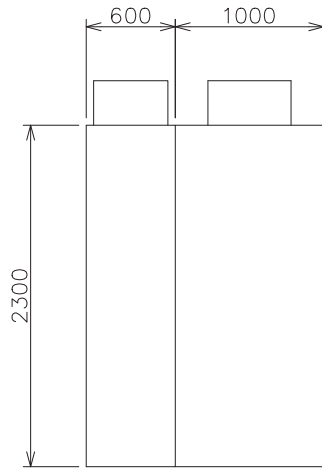
Ⅲ－２－５ 構造図

許 A



- 注記 *1: 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋換気筒及び使用済燃料輸送容器管理建屋換気筒は、使用済燃料の受入れ及び貯蔵に係る施設に係る「放射性廃棄物の廃棄施設」の換気筒である。
- *2: ガラス固化体受け入れ・貯蔵建屋換気筒は、廃棄物管理事業に係る換気筒である。
- *3: ハル・エンドピース及び第1ガラス固化体貯蔵建屋換気筒は、再処理設備本体等に係る施設に係る「放射性廃棄物の廃棄施設」の換気筒である。
- *4: 赤線は改造範囲を示す。

第2.5.1.1.1-1図
北換気筒（ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒）の構造図



機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
EB建屋110V運転予備用充電器盤C1 (EB-CHG-C1)	1	1000	1500	2300
	1	600	1800	2300

第2.5.1.2.2-1図
EB建屋110V運転予備用充電器盤C1
(EB-CHG-C1)の構造図

第2.5.1.2.2-1図 EB建屋110V運転予備用充電器盤C1 (EB-CHG-C1) の構造図 別紙

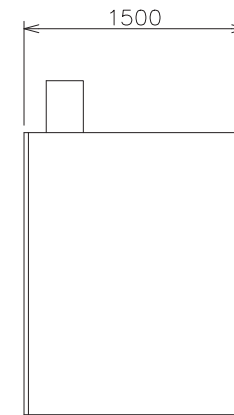
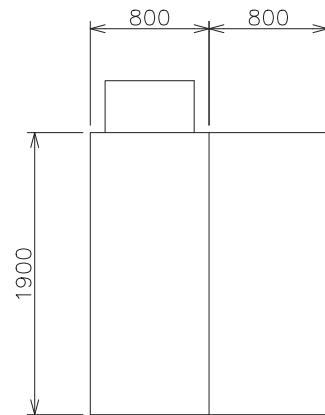
設工認申請書記載の公称値の許容範囲

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
幅	1000* ²	±2	JEM1459による製造公差
	600* ³	±2	JEM1265による製造公差
奥行	1500* ²	±6	JEM1459による製造公差
	1800* ³	±8	JEM1265による製造公差
高さ	2300* ²	±4	JEM1459による製造公差
	2300* ³	±2	JEM1265による製造公差

注記 *1：主要寸法は、設工認申請記載の公称値を示す。

*2：充電器盤を示す。

*3：受電盤を示す。



機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
EB建屋110V運転予備用蓄電池盤C1 (EB-BAT-C1)	2	800	1500	1900

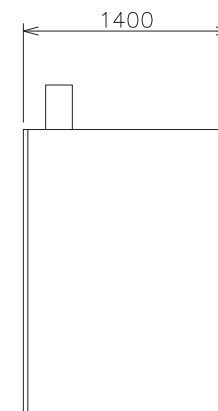
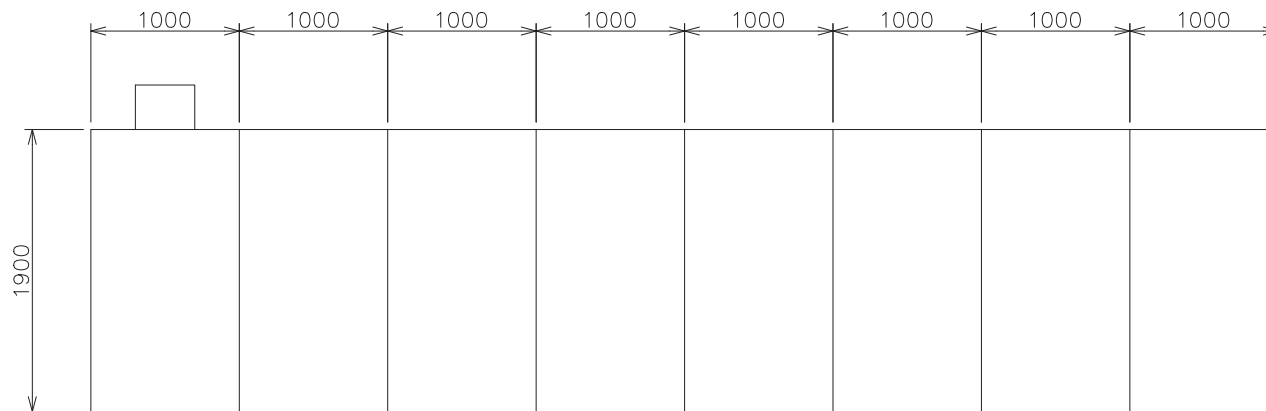
第2.5.1.2.2-2図
EB建屋110V運転予備用蓄電池盤C1
(EB-BAT-C1)の構造図

第2.5.1.2.2-2図 EB建屋110V運転予備用蓄電池盤C1 (EB-BAT-C1) の構造図 別紙

設工認申請書記載の公称値の許容範囲

主要寸法*		許容範囲	根拠
(mm)		(mm)	
幅	800	±2	JIS-B-0404による製造公差
奥行	1500	±3	同上
高さ	1900	±3	同上

注記 * : 主要寸法は、設工認申請記載の公称値を示す。



機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
350V蓄電池C2 (EB-BAT-C2)	8	1000	1400	1900

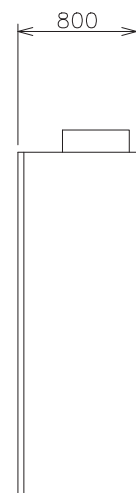
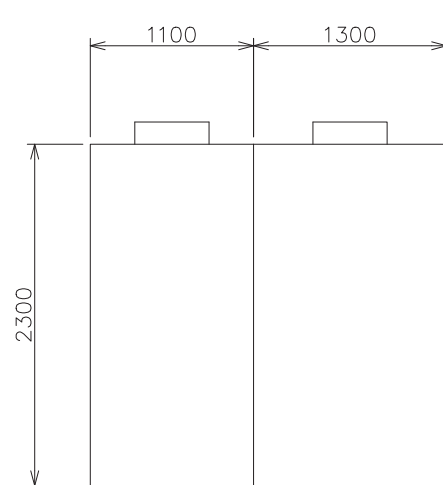
第2.5.1.2.2-3図
350V蓄電池C2(EB-BAT-C2)
の構造図

第2.5.1.2.2-3図 350V蓄電池C2 (EB-BAT-C2) の構造図 別紙

設工認申請書記載の公称値の許容範囲

主要寸法*		許容範囲	根拠
(mm)		(mm)	
幅	1000	±2	JEM1459による製造公差
奥行	1400	±6	同上
高さ	1900	±3	同上

注記 * : 主要寸法は、設工認申請記載の公称値を示す。



機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
EB2建屋420V運転予備用 無停電電源装置蓄電池盤C (EB2-BAT-C)	1	1100	800	2300
	1	1300	800	2300

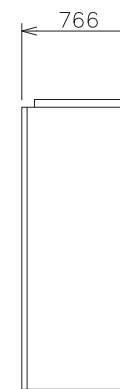
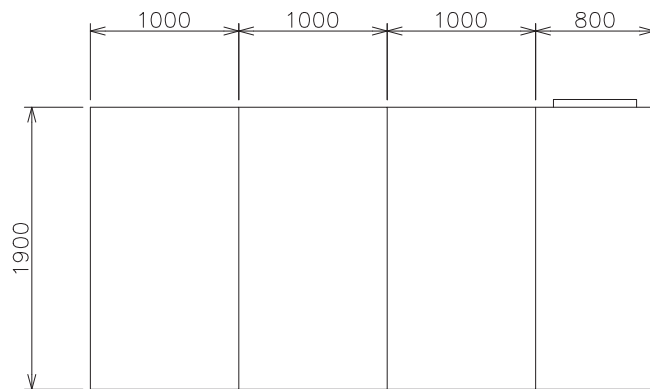
第2.5.1.2.2-4図
EB2建屋420V運転予備用無停電電源装置
蓄電池盤C(EB2-BAT-C)の構造図

第2.5.1.2.2-4図 EB2建屋420V運転予備用無停電電源装置蓄電池盤C (EB2-BAT-C) の構造
図 別紙

設工認申請書記載の公称値の許容範囲

主要寸法* (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
幅	1100	±3	JEM1459による製造公差
	1300	±3	同上
奥行	800	±2	同上
高さ	2300	±4	同上

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請記載の公称値を示す。



機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
415V無停電電源装置C (EB-UPS-C)	3	1000	766	1900
	1	800	766	1900

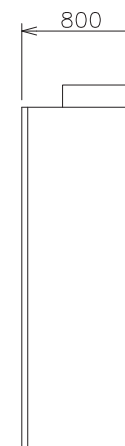
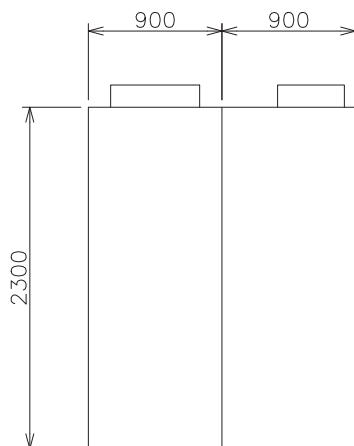
第2.5.1.2.2-5図
415V無停電電源装置C(EB-UPS-C)
の構造図

第2.5.1.2.2-5図 415V無停電電源装置C (EB-UPS-C) の構造図 別紙

設工認申請書記載の公称値の許容範囲

主要寸法*		許容範囲	根拠
(mm)		(mm)	
幅	800	±2	JEM1459による製造公差
	1000	±2	同上
奥行	766	±4	同上
高さ	1900	±3	同上

注記 * : 主要寸法は、設工認申請記載の公称値を示す。



機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
EB2建屋105V運転予備用 無停電電源装置C (EB2-UPS-C)	2	900	800	2300

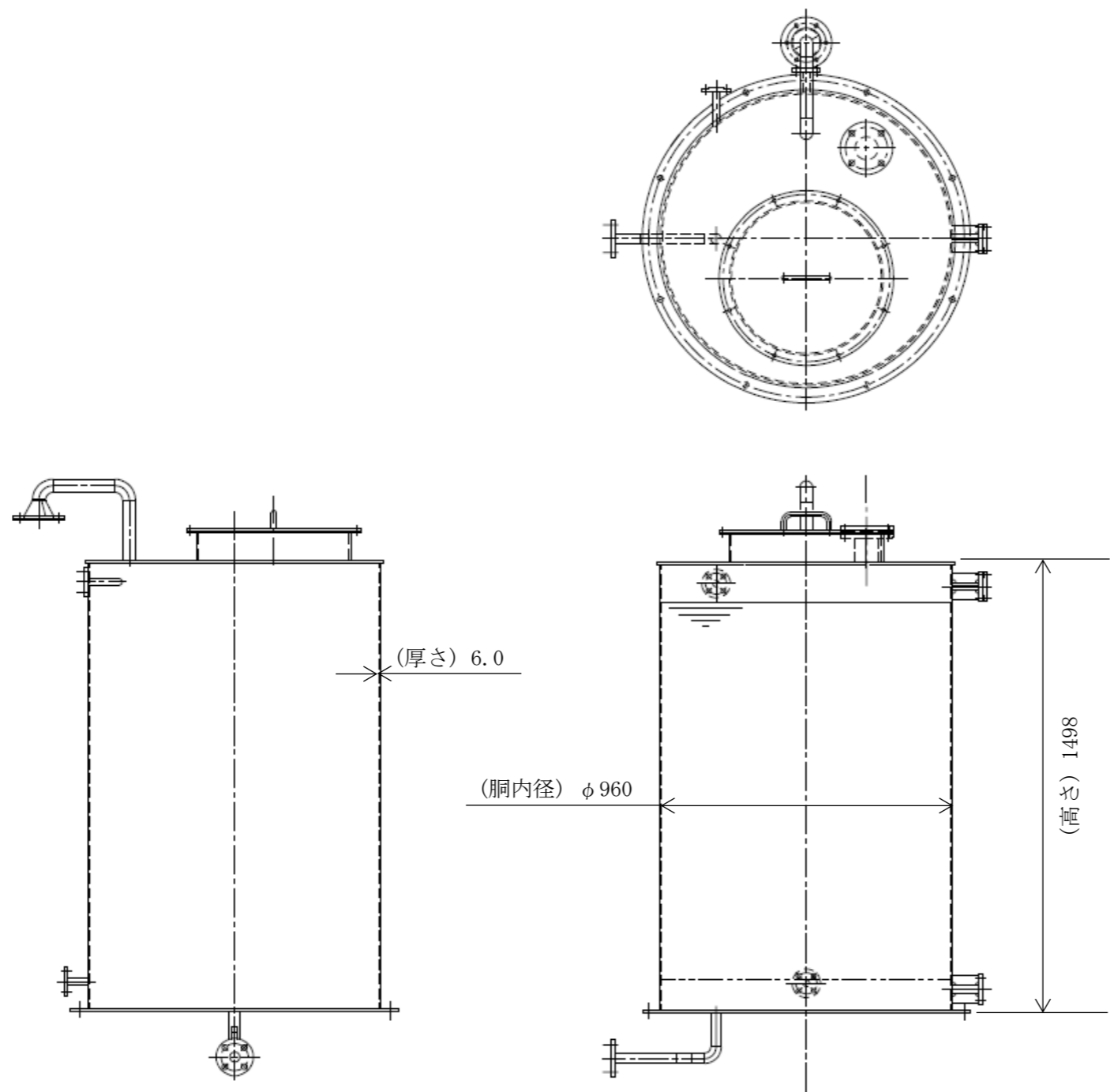
第2.5.1.2.2-6図
EB2建屋105V運転予備用無停電電源装置C
(EB2-UPS-C)の構造図

第2.5.1.2.2-6図 EB2建屋105V運転予備用無停電電源装置C (EB2-UPS-C) の構造図 別紙

設工認申請書記載の公称値の許容範囲

主要寸法*		許容範囲	根拠
(mm)		(mm)	
幅	900	±2	JEM1459による製造公差
奥行	800	±2	同上
高さ	2300	±4	同上

注記 * : 主要寸法は、設工認申請記載の公称値を示す。



注1：寸法は mm を示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

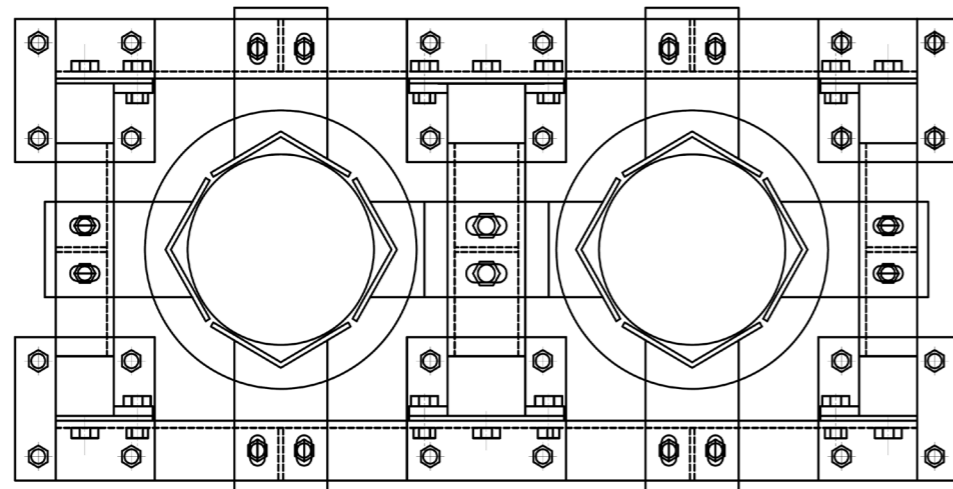
燃料油貯槽E (6000-V11)
燃料油貯槽F (6000-V12)
機器名称一覧表

第 2.5.2-1 図
 地下水排水設備（ガラス固化体貯蔵建屋 B 棟周り）
 燃料油貯槽の構造図

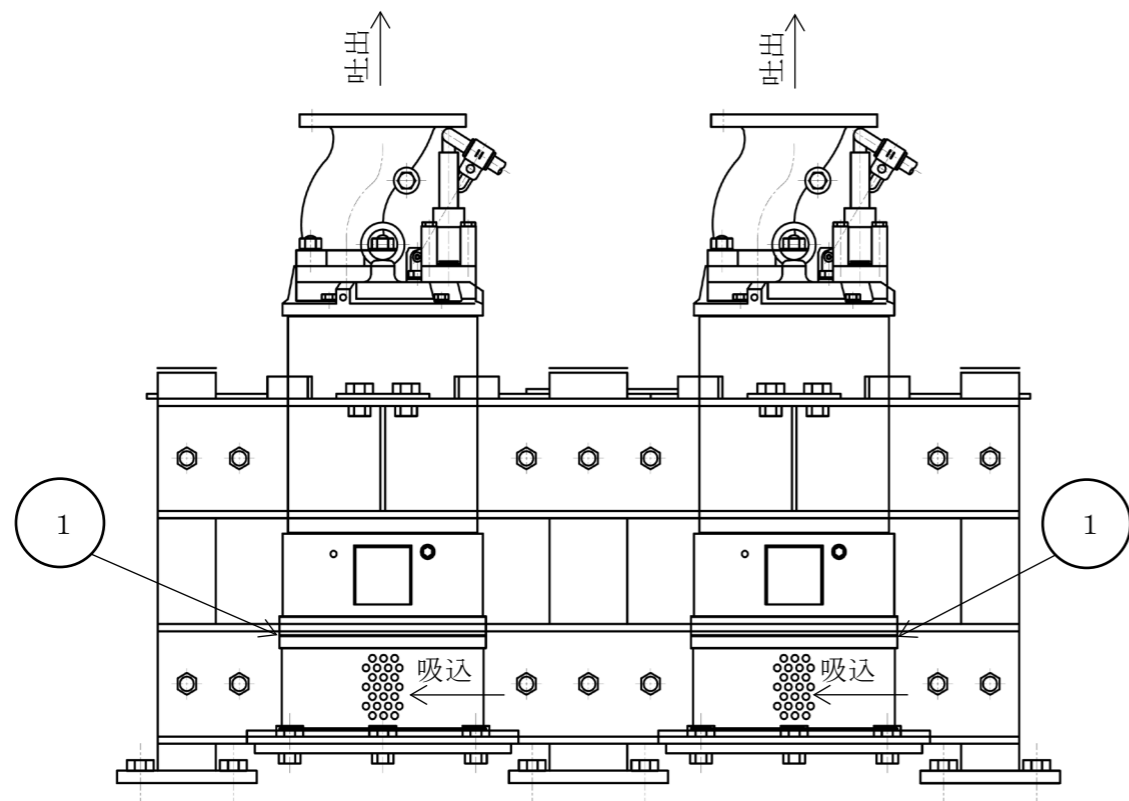
第 2.5.2-1 図 地下水排水設備（ガラス固化体貯蔵建屋B棟周り）燃料油貯槽の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

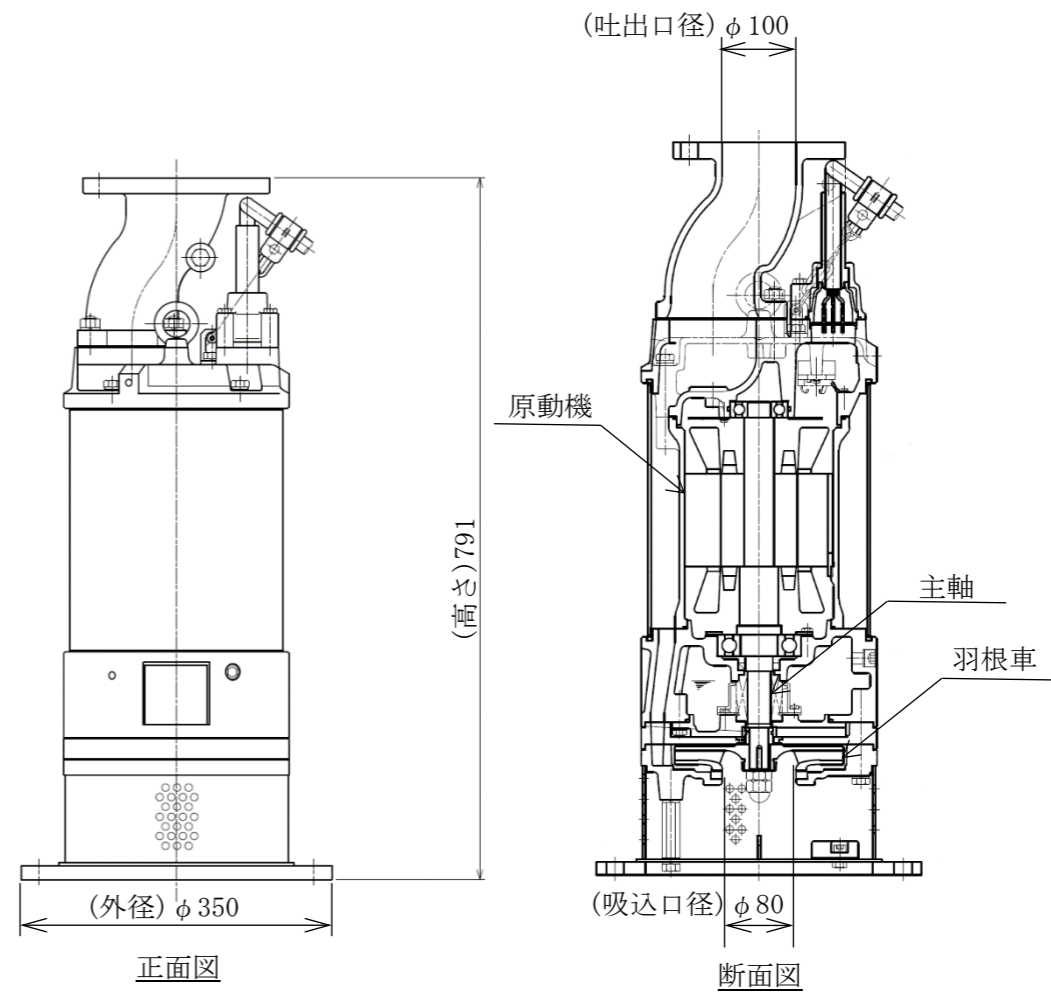
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
胴内径	960	±5 mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1498	±6 mm	同上
厚さ	6.0	+0.7 mm -1.2mm	同上



上面図



正面図



正面図

断面図

地下水排水ポンプ A (6000-P031, P041)
地下水排水ポンプ B (6000-P032, P042)
機器名称一覧表

1	ケーシング	2	FCD450
番号	名称	個数	材料
部品表			

注1：寸法は mm を示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

第 2.5.2-2 図

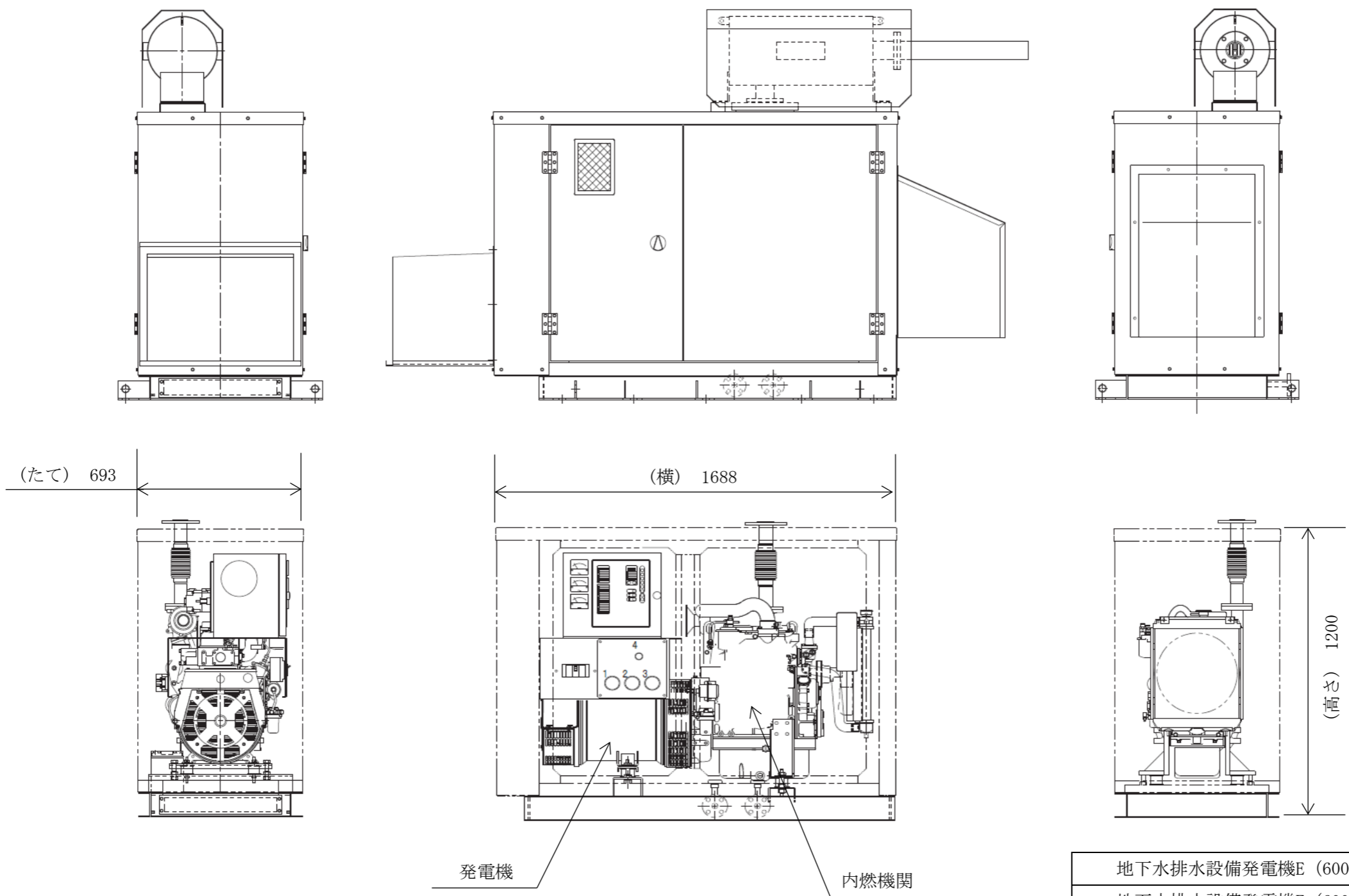
地下水排水設備（ガラス固化体貯蔵建屋 B 棟周り）

地下水排水ポンプの構造図

第2.5.2-2図 地下水排水設備（ガラス固化体貯蔵建屋B棟周り）地下水排水ポンプの構造
 図
 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
吸込口径	80	±2.5mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準
吐出口径	100	±2.5mm	同上
外径	350	±5mm	同上
高 さ	791	±8mm	同上



地下水排水設備発電機E (6000-X11)
地下水排水設備発電機F (6000-X12)
機器名称一覧表

上段に外観図、下段に内部詳細図を示す

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

第 2.5.2-3 図
 地下水排水設備（ガラス固化体貯蔵建屋 B 棟周り）発電機の構造図

第 2.5.2-3 図 地下水排水設備（ガラス固化体貯蔵建屋 B 棟周り）発電機の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	693	±4 mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカ 基準
横	1688	±6 mm	同上
高さ	1200	±6 mm	同上